

政治経済学部

# 教養演習要項

2021年度

明治大学

## 1 演習とは!?

演習は、ゼミナールともいい、教員の指導の下、学生が自分の研究テーマを設定し、発表・討論を行う授業形式である。構成員は、通常、少人数の学生（10～20名程度）とひとりの教員である。学生は研究の過程において、資料を収集し、意見を集約の上、授業等を通して研究成果を発表し、議論を展開している。教員は適宜、必要なアドバイスをを行い、学生を指導する。こうした過程を経て、自分の意見を反芻しながら研鑽し、研究成果を論文やレポートにまとめることを目的とした授業である。

政治経済学部では、1・2年生が履修する演習形式の授業として、「教養演習」を設けている。教養演習は、1・2年生が学問的スキルの基本を学ぶとともに、教養を高めることを目的として各演習が開講されている。

## 2 設置科目

入学年度で履修可能な科目が限られているので注意すること。

- ◆科目名・・・教養演習ⅠA・教養演習ⅡA・教養演習ⅠB・教養演習ⅡB・  
教養演習ⅠC・教養演習ⅡC

## 3 科目区分と単位

	学年学期	科目名称	学年学期	科目名称
半期型 (2単位)	1年次春	教養演習ⅠA	1年次秋	教養演習ⅠB
	2年次春	教養演習ⅡA	2年次秋	教養演習ⅡB
通年型 (4単位)	1年次春・秋	教養演習ⅠC		
	2年次春・秋	教養演習ⅡC		

## 4 履修手続

### (1) ガイダンス・選考試験

履修を希望する演習の**初回授業に必ず出席**すること。初回授業において、ガイダンスを実施し、一部の演習では、選考試験や事前課題を課す。(開講曜日時限は、裏表紙を参照)

### (2) 履修登録

掲示・ガイダンスで担当教員から履修許可を得た学生は、履修登録期間に履修登録をすること。

### (3) 「教養演習ⅠB」・「教養演習ⅡB」・「基本演習Ⅱ」選抜時期

「教養演習ⅠB」・「教養演習ⅡB」・「基本演習Ⅱ」は、秋学期開講のため9月の初回授業時に選抜を行う。

## 5 留学における取り扱い

教養演習 I C・II Cは通年科目（4単位）のため、春学期もしくは秋学期に留学する学生は履修することができないが、下記の条件を全て満たす場合には、教養演習 I A・II A（春学期2単位）もしくは教養演習 I B・II B（秋学期2単位）としての履修を認める。

- 1 春学期初回授業に出席し、担当教員からの履修許可を得る。
- 2 履修許可を得る際に、春学期もしくは秋学期に留学することを伝え、半期のみの履修として履修許可を得る。
- 3 上記1，2の履修許可を得た後、所定用紙に担当教員の署名をもらい、政治経済学部事務室まで提出する。（所定用紙は、政治経済学部事務室にて配布）

教養演習担当者一覧表（担当教員氏名，あいうえお順）

担当教員名	科目名		頁
	2017年度以降入学者		
	春学期	秋学期	
飯嶋 曜子	教養演習ⅠC・ⅡC		4
石井 千春	教養演習ⅠC・ⅡC		5
稲葉 肇	教養演習ⅠC・ⅡC		6
井上 和哉	教養演習ⅠC・ⅡC		7
植田 麦	教養演習ⅠC・ⅡC		8
海野 素央	教養演習ⅠC・ⅡC		9
大森 正之	教養演習ⅠC・ⅡC		10
奥山 雅之	教養演習ⅠC・ⅡC		11
春日井 淳夫	教養演習ⅠC・ⅡC		12
加藤 久和	教養演習ⅠC・ⅡC		13
金子 隆一	教養演習ⅠC・ⅡC		14
倉地 真太郎	教養演習ⅠC・ⅡC		15
黒崎 峰孝	教養演習ⅠC・ⅡC		16
小島 望	教養演習ⅠC・ⅡC		17
後藤 光将	教養演習ⅠC・ⅡC		18
小西 淳文	教養演習ⅠC・ⅡC		19
齋藤 雅己	教養演習ⅠC・ⅡC		20
四反田 義美	教養演習ⅠC・ⅡC		21
柴崎 文一	教養演習ⅠC・ⅡC		22
嶋田 直哉	教養演習ⅠC・ⅡC		23
ジョージ, ジョニーE.	教養演習ⅠC・ⅡC		24
陣野 俊史	教養演習ⅠC・ⅡC		25
高橋 聡	教養演習ⅠC・ⅡC		26
高峰 修	教養演習ⅠC・ⅡC		27
武田 紘平	教養演習ⅠC・ⅡC		28
塚本 崇	教養演習ⅠC・ⅡC		29
蓬郷 尚代	教養演習ⅠC・ⅡC		30
富澤 成實	教養演習ⅠC・ⅡC		31
虎岩 直子	教養演習ⅠC・ⅡC		32
永江 敦	教養演習ⅠC・ⅡC		33
永川 聡	教養演習ⅠC・ⅡC		34
中村 幸一	教養演習ⅠC・ⅡC		35
野口 健	教養演習ⅠC・ⅡC		36
羽根 次郎	教養演習ⅠC・ⅡC		37
平山 茂樹	教養演習ⅠC・ⅡC		38
堀越 喜晴	教養演習ⅠC・ⅡC		39
本間 次彦	教養演習ⅠC・ⅡC		40
丸川 哲史	教養演習ⅠC・ⅡC		41
森下 正	教養演習ⅠC・ⅡC		42
森本 陽美	教養演習ⅠC・ⅡC		43
森本 陽子	教養演習ⅠC・ⅡC		44
山岸 智子	教養演習ⅠC・ⅡC		45
兼子 歩	教養演習ⅠA・ⅡA		46
兼子 歩	教養演習ⅠB・ⅡB		47
仮屋 浩子	教養演習ⅠA・ⅡA		48
佐久間 寛		教養演習ⅠB・ⅡB	49
高橋 信勝	教養演習ⅠA・ⅡA	教養演習ⅠB・ⅡB	50
武田 和久	教養演習ⅠA・ⅡA		51
廣部 泉	教養演習ⅠA・ⅡA		52
水野 剛也		教養演習ⅠB・ⅡB	53

## 教養演習担当者一覧表（担当教員氏名，あいうえお順）

担当教員名	演習テーマ	対象学年		頁
		春	秋	
飯嶋 曜子	景観から地域を読み解く 一地図・統計・GISによる地域調査法入門一	1・2年		4
石井 千春	日本近現代文学を読む	1・2年		5
稲葉 肇	感染症の歴史を英語で読む	1・2年		6
井上 和哉	目指せTOEIC〇〇〇点！	1・2年		7
植田 麦	企画・取材・執筆 一記事を書く一	1・2年		8
海野 素央	異文化とリーダーシップ	1・2年		9
大森 正之	「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座	1・2年		10
奥山 雅之	産業社会研究入門（産業と地域の分析手法を学ぶ）	1・2年		11
春日井 淳夫	体力・運動能力・健康度を探る	1・2年		12
加藤 久和	日常の経済事象を読み解く 一経済学Detective養成講座	1・2年		13
金子 隆一	人口とライフコースの変化から視る未来社会	1・2年		14
倉地 真太郎	財政と社会	1・2年		15
黒崎 峰孝	口頭表現力（話す力）の向上	1・2年		16
小島 望	英語を通じて今日のネーション・エスニシティ問題を考える	1・2年		17
後藤 光将	東京2020以後の日本と世界	1・2年		18
小西 淳文	国際協力の実務（JICA課題別指針）	1・2年		19
齋藤 雅己	Economic Affairs（経済事情）	1・2年		20
四反田 義美	数学とは何か（幾何学を中心に）	1・2年		21
柴崎 文一	プレゼンテーションで世界を変える！～TEDの世界～	1・2年		22
嶋田 直哉	舞台芸術の魅力	1・2年		23
ジョージ ジョニーE.	Language mysteries ※1	1・2年		24
陣野 俊史	サッカーを語り尽くす	1・2年		25
高橋 聡	ソーシャル・ビジネス／ファイナンスから貧困・格差を考える	1・2年		26
高峰 修	1964年東京オリンピックをめぐるフィールドワーク	1・2年		27
武田 紘平	理論と実践を通して自身の身体を知る	1・2年		28
塚本 崇	アジアの中の日本	1・2年		29
蓬郷 尚代	自然と関わるスポーツ活動～自然体験活動～	1・2年		30
富澤 成貴	夏目漱石と村上春樹を読む	1・2年		31
虎岩 直子	「パブリック・アート」をはじめとする視角文化から考える現代社会	1・2年		32
永江 敦	自転車の文化と歴史～未来をひらく乗り物	1・2年		33
永川 聡	現代ドイツ政治談議	1・2年		34
中村 幸一	台湾（文化）研究	1・2年		35
野口 健	町づくりを考えてみよう	1・2年		36
羽根 次郎	中国語原文史料で考える中国現代史	1・2年		37
平山 茂樹	ダンス・身体・映像	1・2年		38
堀越 喜晴	数と効率の論理の超克—障害学が開く新たな社会の地平	1・2年		39
本間 次彦	『史記』の世界	1・2年		40
丸川 哲史	世界の文学作品の「朗読」や「翻訳」、及び「創作」の実践	1・2年		41
森下 正	ベンチャー・中小企業経営研究	1・2年		42
森本 陽美	スポーツと法学	1・2年		43
森本 陽子	英語漬け、英語イベント／発表を通して留学に備えよう！！ ※1	1・2年		44
山岸 智子	オリンピック・イヤーのイスラーム入門	1・2年		45
兼子 歩	文化としての身体	1・2年		46
兼子 歩	英語で読むアメリカのいま		1・2年	47
仮屋 浩子	コミュニケーションと身体性	1・2年		48
佐久間 寛	映像から学ぶ文化人類学の世界		1・2年	49
高橋 信勝	経済思想を学ぶ	1・2年	1・2年	50
武田 和久	グローバル・ヒストリー：近代初期（16-18世紀）を中心に	1・2年		51
廣部 泉	ブラアメリカ（アメリカ合衆国探訪）	1・2年		52
水野 剛也	ジャーナリズムについて、ひたすら語りあう		1・2年	53

裏表紙に、各演習の関連分野・キーワード・開講曜日時限を記載した一覧表を掲載

※1 当該授業の修得単位は、ACE修了要件の上限に2単位まで算入することができる。

**演習テーマ：景観から地域を読み解く ―地図・統計・GISによる地域調査法入門―**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では、ある地域で、なぜ、いかなる景観がみられるのか、それがどのように変化し、維持されてきたのかを明らかにすることを通じて、地域の特性を地理学的な手法で分析する方法を学びます。

景観は、その地域の自然条件、歴史的経緯、政策的誘導、経済状況、文化的特性などさまざまな要因が複雑に絡み合い形成されています。すなわち、景観から地域を読み解くということは、私たちが現在目にする景観の背後に潜む諸要因を、環境、歴史、社会、政治、経済、文化といったさまざまな面から複合的に捉え分析する作業なのです。

演習では、様々な種類の地図や航空写真、統計、GIS (地理情報システム) などを活用し、地域を分析する手法を身に着けます。そのうえで、各自が関心のある地域を取り上げ、分析し発表します。さらに、発表の際の議論で明らかになった課題を踏まえて、学年末にレポートを提出します。

こうした一連の作業により、地域調査分析の手法、レジュメ・論文の書き方、プレゼンテーションの手法を身に着けることを最終的な到達目標とします。

**教科書・使用教材：**

授業中に指示します

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

- ・課題作成のためにフリーの GIS ソフトを利用するため、自宅に PC を有しエクセルの基本的な操作ができることを条件とします。
- ・議論に積極的に参加し、貢献できるかが評価のポイントになります。

**成績評価方法：**

演習への参加・貢献度 30%、発表 30%、レポート 40%

教員の研究分野…政治地理学、経済地理学、EU研究、地域政策論

募集人員…10名

募集方法…初回授業で決定するため、必ず出席して下さい (希望者多数の場合は簡単なテストもしくはレポートの提出を課します)。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：日本近現代文学を読む**

**授業内容・授業到達目標：**

明治から現代までの短編・中編小説を読む。予定している作家は、夏目漱石、森鷗外、樋口一葉、永井荷風、芥川龍之介、太宰治、内田百閒、三島由紀夫、吉行淳之介など。作品の時代背景、作家の生涯なども考えながら読んでゆきたい。

授業の進め方は、学生の質問に答えつつ、作品を精読する。

小論の書き方の指導を行う。

**教科書・使用教材：**

作品集は各自用意すること。手元にある本でかまわない。資料はプリント配布する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

日本文学を読み込んでいる学生だけでなく、読書によって世界を広げたい学生歓迎。学習する作品は、各自よく読んでおくこと。授業中、自分の考えや解釈を述べられるよう注意深く読む。疑問点をメモして、授業で質問できるようにする。授業で学んだ作品理解を基に、小論を書く。

**成績評価方法：**

小論 70%

授業参加度 30%

なお政経教養セミナー投稿者は小論の評価に加算する。

教員の研究分野…日本の近代

募集人員…10名前後

募集方法…簡単なレポート(人数オーバーの場合のみ)

政経教養セミナー投稿	2019年度(第45号)	有
	2020年度(第46号)	無

**演習テーマ：感染症の歴史を英語で読む**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習の目的は二つある。ひとつは、ペストや天然痘といった、世界史に大きな影響を与えた感染症が、いかにして多くの人々を死に到らしめたかだけでなく、そのことがどのような社会的・経済的・文化的インパクトを持っていたかという問題に触れることである。受講生には、学説だけでなく、社会や文化との関係から科学史を考えるとという観点を養ってもらおう。

もうひとつは、英語のテキストを厳密に読む訓練をすることである。人文学ならびに社会科学の英文は、複雑な文法構造を持ち、使用する語彙も高度かつ専門的であることが多い。受講生には、このような学術的な英文を正確に読むための基礎的な文法と語彙の運用に関する訓練をしてもらう。また背景知識を得るために、各種の参考文献や事典類にあたること、データベースやインターネットで信頼のおける情報を検索することも必要だろう。

演習の中心を占めるのは「一文ずつ英語のテキストを音読し、訳す」という作業である。地味ではあるが、研究で使えるような正確な読解能力を養成するための正攻法は、文法構造を分析し、辞書にあたって訳語を吟味し、訳文を作成し、そして教員による「ツッコミ」を受けるという地道な訓練である（と担当教員は信じている）。

**教科書・使用教材：**

C. W. McMillen, *Pandemics: A Very Short Introduction* (Oxford, 2012)

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

英語に限らず、外国語一般を忌避しないこと。事前に指定された範囲のテキストを読解し、音読の練習と全訳の作成をすること。また、内容に関する背景知識（どんな病気か、どんな人物か、どんな都市か、など）を自分で調べておくことも期待される。

**成績評価方法：**

毎回の演習での準備状況と貢献度（100%）により評価する。

教員の研究分野…科学史

募集人員…8名程度

募集方法…初回授業で決定する。希望者多数の場合は抽選する。

政経教養セミナー投稿 無



**演習テーマ：目指せ TOEIC〇〇〇点！**

**授業内容・授業到達目標：**

本年度このゼミでは、TOEIC に特化することで英語力の向上を図っていきたいと考えています。履修学生の希望によっては英検を取り入れることも考えていますが、原則は TOEIC を中心に扱っていく予定です。

みなさんご存じのように、TOEIC はリスニングとリーディングの二つのセクションに分かれています。どちらも取り扱いたいのですが、時間も限られているので、あまり欲張らずにまずはリーディングセクションから始めていくつもりです。

資格試験の勉強にはいろいろなやり方があると思います。その中でも、自分で問題作成にチャレンジしてみる、という方法があります。このやり方は英語力向上のための最善の方法の一つであると私は考えています。

問題を作る場合、例えば Part7 の作問においては、題材となる長文を出題者はしっかり理解している必要があります。そのために、出題者はその長文をじっくり読み込まなければなりません。つまり精読を行うわけです。

選択肢を作成するならば、出題者には語彙力を含めた高度な英作文力が求められます。以上のことから、問題作成にチャレンジすることで我々は読解力と作文力の二つを鍛えていくことができるわけです。

具体的な進め方については、実際にやってみないとわからないと思うので、初回のガイダンス時に一題作ってみたいと思っています。履修者の人数にもよりますが、通常時は二人一組で一回につき最低二問作ってみたいと考えています。

**教科書・使用教材：**

毎回配布する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

真剣に英語力の向上を求めているなら誰でもよい。

**成績評価方法：**

普通の授業における取り組みで決める。

教員の研究分野…英語

募集人員…10名程度

募集方法…多い場合には相談して決めます。

政経教養セミナー投稿 無(2016・2017年度 授業担当なし)

演習テーマ：企画・取材・執筆 ——記事を書く——

授業内容・授業到達目標：

「記事」というと、新聞記事や雑誌記事を想起しがちです。その考えがまちがっているわけではありませんが、同じ新聞・雑誌であっても、ウェブメディア版記事もありますし、そういった媒体を背後にもたないウェブサイトの記事なども多くなりました。

この授業では、多様なメディアを想定した「記事」の執筆を目的とします。

自分が企画した内容について取材し、それを文字のかたちでアウトプットする。この一連の行為によって、自分の外部にあるものを内面化し、また内部にあるものをより望ましいかたちで言語化する経験を重ねてください。

そのためには、多くのものに触れ、多くの思考を言語化しなければなりません。より具体的には、全員が企画立案を行い、取材・調査をし、資料を読み、文章を書き、それを相互で講読し、討論することを求めます。

つまり、この授業では、一年を通して相当な分量の文章を（電子的にはありますが）書かなければなりません。ですから、「楽に単位を取りたい」というひとには向きません。また、文章を書くだけではなく、お互いの文章をもとにした討論や検討を行うので、他者とコミュニケーションをとりたくないひとにも向きません。

ともあれ、この授業では、自分が興味をもっているものについてその魅力をいかにすれば紹介できるのか、あるいは自分の発見をどうすれば面白く伝えられるのかについて学びます。そして、文字による伝達能力の向上をはかります。

教科書・使用教材：

必要に応じて指示します。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

- ・授業への参加に積極的であること。
- ・半期あたり総授業回数の1/3以上を遅刻または欠席した場合、単位認定の対象としません。
- ・本演習は、「基礎的な日本語・文章表現」について学ぶものではありません。

成績評価方法：

発表およびレポート作成…100%

教員の研究分野…日本文学・日本語学

募集人員…10名程度

募集方法…初回授業に出席すること。受講希望者の多い場合は、筆記試験で選考します。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ : 異文化とリーダーシップ**

**授業内容・授業到達目標 :**

近年、国際化の著しい進展に伴う日本企業の海外進出および外資系企業の日本進出によって、文化的背景の異なる人々と協働したり、そうした人々を管理する、あるいは、彼らの下で仕事をする機会が増加している。こうしたビジネス環境の変化に、従来のリーダーシップ論では対応しきれない事態が生じてきている。21世紀に、グローバルな舞台で管理者を目指す学生諸君には、今、新しいリーダーシップが求められている。

本ゼミでは、異文化環境におけるリーダーシップを研究テーマとして取り上げ、学生諸君が、新しいリーダーシップつまり講師が提示している異文化対応型リーダーシップを理解し、その KSAA (知識・スキル・態度・能力) の基礎を習得することを目的として、事例、小グループごとのディスカッション、チームプロジェクト、シミュレーション (疑似体験)、プレゼンテーションを中心に進めていく。年 2 回、ディベート大会も実施している。その意味では、極めて実践的な演習である。

**教科書・使用教材 :**

海野素央『オバマ再選の内幕—オバマ陣営を支えた日本人が語る選挙戦略』、海野素央『リスクと回復力—東京電力福島第一原発事故から学ぶリーダーシップ』、海野素央『トヨタ公聴会から学ぶ異文化コミュニケーション』(いずれも同友館) L.A. サモーパー、R.E.ポーター、N.C. ジェイン著 西田司他訳 (1993)『異文化間コミュニケーション入門』、W.B.グディンスタット著 ICC 研究会訳 (1993)『異文化に橋を架ける—効果的なコミュニケーション』(いずれも聖文社)

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

モチベーションの高い学生を求む。

**成績評価方法 :**

プレゼンテーション (80%)、試験 (20%)

**教員の研究分野**…2020 年米大統領選挙、バイデン米大統領とトランプ前大統領のコミュニケーションスタイル、2018 年米中間選挙、2016 年米大統領選挙、オバマ元米大統領のリーダーシップとコミュニケーションスタイル、トヨタ公聴会における異文化コミュニケーション、異文化交渉スタイル(日本・米国)、異文化コラボレーション、異文化ファシリテーション、異文化コーチング、異文化メンタリング

**募集人員**…7~8 名

**募集方法**…レポート : テーマ「国際人とは」。1200 字程度。横書き。名前、学年、組、番号、出身地を明記。

**政経教養セミナー投稿** 無

**演習テーマ：「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座**

**授業内容：**

環境エコノミスト、環境ジャーナリスト、環境コンサルタント、環境行政官、環境政治家など、環境問題の解決を目指すスペシャリストになるために必要と思われる基本的な文献や映像などを批判的に読み解くための知的なトレーニングの場を提供したい。

受講者には、環境問題に関連する初歩的な文献や映像などを年間 5 作品程度読み込み、レポート（書評や映評）を 3 本程度書き、パワーポイントを用いて発表し、提出してもらいます。

演習指導教員は、文献や映像を案内し、発表についての受講者相互の議論を活性化し、レポートを添削します。可能なら、秋学期はグループ研究を行います。

テキストは、以下のカテゴリーから受講者が自由に選択することになりますが、ここに挙げていない文献や映像なども追加で案内します。

1. 環境問題の歴史を学ぶ(日本編)：石牟礼道子『苦海浄土』他
2. 環境問題の歴史を学ぶ(海外編)：レイチェル・カーソン『沈黙の春』他
3. 環境経済学を学ぶ：植田和弘『環境経済学への招待』他
4. 環境政治学を学ぶ：松下和夫『環境政治入門』他
5. 映画で学ぶ環境問題：『エレン・プロコビッチ』（テーマ：土壌汚染）／『シビルアクション』（テーマ：公害訴訟）他
6. 環境技術展の見学：「エコプロダクツ展」・「省エネルギー展」／自然エネルギー施設見学  
なお、専門演習（3.4年ゼミ）で行っている養蜂プロジェクト（千代田区の蜜源植物の調査）に参加できます。

**授業到達目標：**

適切にレポートが書け、研究発表ができる能力を身につけること。共同論文の作成

**教科書・使用教材：**

教科書はなし。参考文献多数。

**受講希望者に対する希望：**

環境問題への高い関心と出席する意欲

**準備学習の内容：**

指定された文献・資料を読んでおくこと。

**成績評価方法：**

授業への出席と積極性（50%）、レポート内容（50%）

教員の研究分野…環境経済学・環境政策学・釣りと流域環境保全

募集人員…10 程度

募集方法…「環境問題への関心の深さを問う」面接（初回の授業時）

政経教養セミナー投稿	2019 年度（第 45 号）	有
	2020 年度（第 46 号）	有

**演習テーマ：産業社会研究入門（産業と地域の分析手法を学ぶ）****授業内容・授業到達目標：****1. 授業内容**

ニーズの多様化、グローバル化が進展するなかで、産業や地域のあり方も大きく変わろうとしている。この演習は、こうした産業と地域との関わりや、産業や地域にまつわる様々な問題を考えていく。

## ・前半（春学期）：「業界分析」

産業は、その種類（業種）によっても特性が大きく異なる。少し早いかもしれないが、就職活動にも有効な業界分析手法を理論に基づき習得する。その後、興味のある業種を選び、習得した手法を用いて分析し、その分析結果をプレゼンテーションする。

学生からの発表例：自動車業界、生命保険業界、食品業界、医薬品業界、ファッション業界など

## ・後半（秋学期）：「地域産業分析」

世界、日本、そして東京にも様々な産業がある。まず、こうした地域産業の考察手法を習得する。その後、興味のある東京およびその周辺部の産業集積（特定の産業が集中しているところ）を選び、習得した手法を用いて分析し、その分析結果をプレゼンテーションする。また、その内容を政経教養セミナーに投稿する。

学生からの発表例：神保町の古本、新木場の木材倉庫、清澄白河のコーヒーショップ、下北沢の古着・劇場、丸の内の金融など

**2. 到達目標**

産業や地域の構造を様々な角度から捉え、産業・地域に関連する教養を高め、将来の就職先などで的確な市場戦略、競争戦略を立案できる基礎能力を身に付ける。企業、産業、地域、経済について幅広い切り口と考え方を備え、この演習が社会で活躍できる人材の第一歩となることを期待する。

**教科書・使用教材：**

教科書は使用しない。配布するレジュメ等によってすすめていく。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

事前に、直前回の授業中に示す「予習すべき事項」あるいは「事前課題」について調べておくこと。復習として、同じく授業中に示す「復習課題」を実施すること。また、産業に対する問題意識や提言力を身につけるため、日頃から新聞の経済・産業関連記事に接してほしい。

**成績評価方法：**

演習への貢献度 50%、中間レポート 20%、期末レポート 30%

教員の研究分野…地域産業論、繊維・ファッション産業、地域ビジネスのグローバル化

募集人員…10～20名程度

募集方法…希望者が多い場合には、初回の面談、グループワークまたはエントリーシート等によって選抜する。

政経教養セミナー投稿	2019年度	有
	2020年度	有

**演習テーマ：体力・運動能力・健康度を探る**

**授業内容：**

本演習の目的は、様々な運動・スポーツの実践、日常ではあまり触れることのできない機器を使用した体力測定の実施などを通して、自身の体力、運動能力、健康度について客観的に評価できる能力を養うことである。

春学期は、「和泉総合体育館・サブホール」において、いろいろな運動・スポーツを実践し、それを通して自身の体力についての現状を認識すること、およびゼミ員相互の親睦を深めることを主たる目的とする。秋学期は「和泉総合体育館・フィットネスルーム」で、自分の「体力」を測定、評価し、その評価から自分に対するトレーニング処方が作成（目標決定、それを達成させるためのトレーニング方法の選択）できる能力を養うことを主たる目的とする。

春季休暇中（3月上旬を予定）は、ゼミ合宿（スノースポーツ合宿）を実施し、ゼミのまとめを行う。

**授業到達目標：**

受講生は、様々な運動・スポーツの実践を通して、自身の体力、運動能力、健康度について客観的に評価できるようになる。また運動・スポーツを通して、ゼミ員が積極的にコミュニケーションを取り合い、日常生活にも活用することができるようになる。

**教科書・使用教材：**

特になし。

**受講希望者に対する希望：**

本演習の受講を希望する者は、単に「運動・スポーツ好き」に止まらず、自分の身体や体力、運動能力について興味があることを大前提とする。また、授業は休まず、他人任せにせず、自主的・積極的に行動できる学生の入室を希望する。

**準備学習の内容：**

毎回、体育館内で運動・スポーツを実施するため、運動に適した服装（ジャージ等）・靴（体育館シューズ）など、最低限必要な準備を怠らないこと。また、自己の健康管理を行い、授業参加に支障がないよう努めること。

**成績評価方法：**

- 一般学生                   : ①演習への貢献度（50%）  
                                  ②ゼミ合宿参加状況（50%）  
スポーツ推薦入学者：①課題への取り組み・提出状況（50%）  
                                  ②約束事項遵守状況（50%）

**教員の研究分野**…運動生理学、運動生化学、体力学

**募集人員**…①4月初回の授業欠席者は、一般学生・スポーツ推薦入学者共に履修を許可しない。

②一般学生は、1年生：10～15名、2年生：10～15名、合計20～30名の予定。

③スポーツ推薦入学者は、一般学生と別枠で受け入れる予定。但し、覇気がなく目的意識のない者、約束事項を守れない者には単位を認定しない。

**募集方法**…4月初回授業で「ゼミ実施要項」を配付し、入室希望の一般学生には「入室希望調書」を記入・提出してもらう。正式な受講予定者は「入室希望調書」の内容を精査して決定し、発表する。発表の方法は、初回授業時に連絡する。

**政経教養セミナー投稿**      無

**演習テーマ：日常の経済事象を読み解く－経済学 Detective 養成講座－**

**授業内容・授業到達目標：**

みなさんは経済学を無味乾燥な学問のように感じていませんか？しかし、経済学はとても魅力的で楽しく、そして奥の深い学問です。同時に私達の身近な生活にも密着しています。なぜ映画館に学生料金があるのでしょうか、なぜコンビニは近接して立地しているのでしょうか、あるいはなぜランチタイムの食事は安くなっているのでしょうか。こうした日常の疑問を解決する際にも経済学は強力な手段となります。

この教養演習の目的は、日常の経済事象を題材にして、これらを経済学の考え方によって理解する力を身に付け、経済学の面白さを知ってもらうことです。そのために、ミクロ経済学やマクロ経済学に関連するいくつかのテキストを輪読するとともに、履修する学生の皆さんに日常生活の“謎”を解き明かしてもらいます。

春学期は、基礎力を培うために次に掲げるテキストを輪読します。担当する学生は担当箇所の内容をプレゼンし、その後全員でディスカッションを行います。秋学期には、皆さんが集めた“謎”を経済学の考え方から解明するためのディスカッションを行って、皆さん自身に“解決”してもらいます。この教養演習を終了した際には、経済学 Detective の称号を受けられるように、勉強し議論をしましょう。

**教科書・使用教材：**

最初に、次のテキストを輪読します。この本は経済学を学ぶための入門書としてとても素晴らしい本です。

チャールズ・ウィーラン『経済学をまる裸にする』（日本経済新聞出版社）

**受講希望者に対する希望：**

経済学を学ぶ意欲にあふれ、積極的に議論に参加できる学生を求めます。

**準備学習の内容：**

毎回、購読する教材について予習をしておくこと。また、プレゼンが多いので、その準備もしっかりしておくこと。

**成績評価方法：**

演習への貢献度 70%、報告内容・レポート 30%

教員の研究分野…社会保障論、マクロ経済・財政学、計量経済学

募集人員…15 人程度

募集方法…面接（希望者多数の場合は小論文を課す場合があります）

政経教養セミナー投稿 未定

## 演習テーマ：人口とライフコースの変化から視る未来社会

### 授業内容・授業到達目標：

現在日本は世界に先駆けて人口減少、少子高齢化がもたらす経済社会の歴史的転換に直面しています。地方ではすでに多くの自治体やコミュニティの存続が危ぶまれており、その先には日本社会全体の持続可能性も問われています。実際、人口変化の社会経済に与える影響は根深く、たとえば有権者人口が高齢化することで国の政策が高齢者寄りになったり、消費市場が高齢化することで数の少ない子ども・若者向けの製品やサービスが劣化するなど、政治面でも経済面でも若者や子育て世代が不利になるおそれがあります。すると少子化が進行し、人口減少、高齢化がますます深刻化するという悪循環のしくみも有ります。これまで社会を支えてきた民主主義や市場原理といった基本理念そのものが、この悪循環に加担しているわけです。こうした社会の成り立ちの変質は、産業革命以来の現代文明の行き詰まりと、新たなシステム再構築の必要性を示しています。

本演習では、今後すべての人々、すべての活動に影響を与えるだろうこの歴史的な社会変動を題材としつつ、それらを科学的に把握し考察するための基本スキルや思考力を養います。統計やデータサイエンスの基礎を学び、独自の問題意識の形成や、分析・考察、論文作成、討論、口頭報告などに関する技術を習得します。これらは大学や職業における学習活動の基礎となるものです。

### 教科書・使用教材：

資料を配付（PDF、EXCEL形式等、Oh-ro! Meiji システムによる）。

### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

人口、社会、未来に対する関心

### 成績評価方法：

学期末レポート 50%、演習への貢献度（出席、発言、発表等）50%

教員の研究分野…人口学、データ科学、ライフコース学、人類科学

募集人員…14名以内

募集方法…初回授業参加のこと。希望多数の際はアンケートによる選考。

政経教養セミナー投稿 未定



**演習テーマ：財政と社会****授業内容・授業到達目標：**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策・経済対策のため、政府はこれまで類を見ない規模の財政措置を実施してきた。その中身は雇用調整助成金、持続化給付金等の企業・雇用支援、Go to トラベル等の観光業支援、地方創生臨時交付金等の自治体支援、一律 10 万円給付、住宅支援金等の生活支援など多岐に及ぶ。国際的にみても日本のコロナ対策の財源規模は先進諸国の中で米国、カナダに並んで突出して大きいといわれる。

ところが、現実をみると新型コロナの影響で多くの人々が収入を減らし、仕事を失い、格差・貧困問題は深刻化している。とりわけ非正規雇用や女性などにコロナ問題のしわ寄せが行っている。感染症対策はどうだろうか。コロナ対策の最前線に立つ医療従事者の人手不足が深刻化している。にもかかわらず、彼らの報酬は十分とはいえず、現場の負担は増すばかりである。コロナ対策としての財政は果たして上手く機能しているのか。財政は社会のニーズを捉えられているのだろうか。そもそも私たちは財政の何を理解しているのだろうか。財源の規模だけ見ても分からないのである。

この授業では、財政学の視点から社会問題について考える。財政学は財源がいくらだとか、コスパがいいかとか、政策の実現可能性のみを考える学問ではない。財政が社会のニーズを上手く捉えられてない危機的状況だからこそ、そのニーズが何かを考える必要がある。すなわち、財政学とは社会問題を発見し、社会のニーズを満たすための技法でもある。財政学を学び、財政にふれることで普段の生活では見えにくい問題を発見できるだろう。

この授業では、財政に関する文献を輪読することで、日本と世界の財政（税や社会保障など）の仕組みを理解し、政策課題を議論する。春学期には文献輪読の発表を通じてプレゼン力や論理的に話す力を身につけ、秋学期には『政経教養セミナー』への投稿を通じて論文執筆に必要なスキルを学ぶ。

**教科書・使用教材：**

- ・井手英策・宇野重規・坂井豊貴・松沢裕作（2017）『大人のための社会科 -- 未来を語るために』有斐閣（Maruzen e-book library で閲覧可能：  
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000047744>）
- ・トマ・ピケティ（尾上修悟訳）『不平等と再分配の経済学』明石書店。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

受講者が希望すれば『政経教養セミナー』へ論文を投稿する（2020年度は投稿）。論文執筆も発表の評価として加える。毎週の輪読・発表を通じて積極的な参加を望む。

**成績評価方法：**

授業参加度：40%、発表・論文執筆：60%

教員の研究分野…財政学、地方財政論、財政の国際比較

募集人員…15名～20名

募集方法…多数の場合は面談試験を行う

政経教養セミナー投稿 有

兼任講師 黒崎 峰孝 木曜 5 時限 (通年)

担当科目 : 国語表現、日本語表現 (口頭表現、文章表現)、日本文学、教養演習

### 演習テーマ : 口頭表現力 (話す力) の向上

#### 授業内容・授業到達目標 :

現在の日本社会においては、他の能力が同じような場合、「話す力」のある人の方が評価されることが多くなった。国際社会においては、さらにこの「話す力」が要求されていることは言うまでもない。

この授業ではこうした話し言葉による表現、すなわち口頭表現力の向上を目指し、1 年間じっくりかけて演習したいと思っている。

具体的には、話し方や敬語の使い方を説明した後、自己紹介、プレゼンテーション、グループディスカッション、ディベートを行う予定。

自己紹介は 1 回、プレゼンテーションについては 2 回 (春学期 1 回、秋学期 1 回)、グループディスカッションは 1 回、ディベートは肯定側、否定側、審判に分かれてそれぞれ 1 回ずつ (計 3 回) 実施する。

プレゼンテーションについては、前期はテーマをある程度決めて行い、後期は自由テーマにする予定。

グループディスカッションについては、近年就職試験などで多く採用されているため、実際の就職試験を想定して演習するとともに、演習を通して話し合っ物事を決めていくことの重要性を学ぶ。

ディベートは物事を客観的に論ずる力、相手の意見をしっかり聴き論点を把握する力、論理的な思考力など、総合的なコミュニケーション能力を高めることができるようになるので、1 年間のまとめとして最後に行う。

以上のような表現の方法を学ぶことにより、実社会に出てもしっかりと口頭での表現活動が出来るよう、その基礎を身につけることがこの授業の到達目標である。

#### 教科書・使用教材 :

『人を 10 分ひきつける話す力』(斎藤孝)、『伝える力』(池上彰)、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』(松本茂・河野哲也)

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

口頭表現に興味があり、積極的に取り組める学生を歓迎する。使用教材はプリントする予定だが、上記に掲げた文献は、一通り目を通してほしい。また、プレゼン、ディスカッション、ディベートに関する情報を、各自図書館、インターネット等で調べておくこと。

#### 成績評価方法 :

平常の活動を重視。演習への貢献度 (50%) 発表内容 (50%)

教員の研究分野…国語表現、日本の近代文学

募集人員…12 名

募集方法…人数が多い場合は抽選。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：英語を通じて今日のネーション・エスニシティ問題を考える**

**授業内容・授業到達目標：**

演習テーマにも記したように、「英文を通じて今日のネーション・エスニシティ問題を考える」ことである。今日の世界において、ネーション、エスニシティの問題は喫緊の課題である。グローバル化が進展しつつある中、それと競合する対抗運動としての、国民国家の復権を求める潮流が前景化しつつある一方で、エスニシティ間の共存と国家統合という今やいささか古い「新しい問題」は相変わらずその本質的解法を見出せないでいる。こうした問題についての理解を深めることは、グローバル化のいわば負の側面を直視することと同義であり、特に国際的人材たるを志す受講者にとって有益な演習となると考えられる。また、英語学習の必要性が否が応でも高まりつつある今日の環境を考慮し、英語の文献（具体的には新聞や雑誌の記事）を手がかりとしながら、出席者による議論を深めたいと考える。

**教科書・使用教材：**

特に指定しないが、使用する文献は講義中に配布する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

演習においては、各回の担当者（各回につき 2 名を想定している）が指定された文献をまとめたうえで報告することが求められる。担当者以外も、議論を深めるために毎回の文献の内容を事前に把握しなければならない。また、演習という性格上、特別な理由を欠いた欠席は認められない。

**成績評価方法：**

演習への貢献 70%、発表 30%

教員の研究分野…ナショナリズム／国民国家論

募集人員…10 名前後

募集方法…これ以上の応募があった場合は抽選とする。

政経教養セミナー投稿 未定

**演習テーマ：東京 2020 以後の日本と世界**

**授業内容・授業到達目標：**

延期となった東京オリパラ大会が開催される予定です。今まで以上に「スポーツ」の存在がクローズアップされます。メガスポーツイベントは、もはや国際政治・経済の分野においても大きなインパクトを有します。「スポーツ」は、我々にとってもはや必要不可欠な存在ともいえます。

本授業では、東京オリパラ大会終了後にも遺る「レガシー」について注目します。目に見える有形のものもあれば、国民の文化向上や閉塞感打破などの無形のレガシーもあります。これらについて、ホストタウン東京に在する大学生として当事者意識をもって向き合います。

春学期はオリパラに関する講義・文献購読を通して、基礎知識を養います。あわせて、様々なニュースポーツを行います。秋学期は終了直後の東京オリパラ大会をふりかえりながら、グループに分かれて今後の日本と国際社会の展望を小論文としてまとめて報告してもらいます。あわせて、和泉総合体育館メインホールにおいて団体スポーツ競技の実践も行います。

春季休業中 (1/30-2/2 を予定、3 泊 4 日) には、スノースポーツ実践のためのゼミ合宿を行います。本授業を受講することにより、幅広いスポーツ技術の向上、他者とのコミュニケーション能力、社会史の知識、プレゼンテーション能力などを養うことができます。また、希望者にはオリパラ関連施設、企業、テレビ局の見学やフィールドワークを実施します。

**教科書・使用教材：**

後藤光将編 (2020) 『オリンピック・パラリンピックを学ぶ』岩波書店

高峰修編 (2020) 『夢と欲望のオリンピック その多様な姿』成文堂

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

水曜 5 限の授業だけではなく、ゼミ合宿やフィールドワークなどの授業外での活動にも積極的に参加することを望みます。受講にあたって、特別な準備学習の必要はありませんが、スポーツ・オリンピック・パラリンピックに関する時事的な話題の収集に努めてください。また、新型コロナウイルス感染状況の影響によって授業内容が大きく変更になることもあります。

**成績評価方法：**

授業への取り組み度合い 50%、授業時課題 30%、発表内容 20%

(スノースポーツ合宿への参加は必須です)

教員の研究分野…体育・スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育

募集人員…30 名程度

募集方法…希望者多数の場合はスポーツ時事問題に関する筆記試験を実施します。

政経教養セミナー投稿 無

演習テーマ：国際協力の実務 (課題別指針)

授業内容・授業到達目標：

日本の政府開発援助を担う JICA が策定している分野ごとの「課題別指針」を理解し、それぞれの課題を抱える開発途上国の現状を確認したのちに、どのような援助プロジェクトを策定し、実施すればよいか企画書・ワークシート等を作成する。

各自作成した企画書・ワークシート等を JICA 実施プロジェクトでの企画書・ワークシート等と比較し、評価することにより、自分自身の企画力を向上させることが目標。

- 1 回目 JICA 課題別指針について
- 2～ 4 回目 「貧困削減」
- 5～ 7 回目 「母子保健」
- 8～10 回目 「基礎教育」
- 11～13 回目 「ジェンダーと開発」
- 14～16 回目 「水資源」
- 17～19 回目 「都市・地域開発」
- 20～22 回目 「水産」
- 23～25 回目 「農業開発・農村開発」
- 26～28 回目 「廃棄物管理」

各課題について、3 回 1 セットの演習になりますが、1 回目は当該「課題別指針」の習得、2 回目は演習課題の提示と企画書の作成 (対面授業の場合はグループワークを取り入れます) 3 回目は各自 (各グループ) の発表とその評価を行います。

教科書・使用教材：

JICA 「課題別指針」(JICAHP から検索「課題別指針」としてアクセス可能)

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

復習として、「国際協力機構ホームページ」→研究者の方の欄の JICA 図書館ポータルサイト →JICA 報告書・図書・雑誌」にアクセスし、理解を深めてください。関連情報が数多くあります。

成績評価方法：

演習への積極的参加 (70%)

期末レポート (30%) 「(各自関心のある) 地域社会の課題とその解決に向けた提言」

教員の研究分野…持続可能な開発 (成長と環境の調和)、開発経済学

(注) 担当教員は JICA 役職員として勤務した 29 年間、開発途上国支援についてその計画策定と実施監理、評価を担ったほか、外務事務官、外交官 (特命全権大使を含む) としての 7 年間の勤務経験あり

募集人員…15 名程度

募集方法…抽選

政経教養セミナー投稿 無 (2016・2017 年度 授業担当なし)

**演習テーマ：Economic Affairs (経済事情)**

**授業の概要・授業到達目標：**

この演習は、経済(経済学)入門として位置づけられ、今日の経済社会において、私達が責任ある市民として生活し、それぞれの分野で自分の役割を果たしていくために必要な経済の知識を身につけるとともに、現実にもどのような問題が起こっているのか理解していくことを目的としています。

この演習においては、日常的に関心を持って経済ニュースを集め、毎週、現実経済の中から自分が特に重要だと考える経済時事問題を取り挙げて発表してもらい、少人数のグループに分かれて討論していきます。また、春学期と秋学期の後半には、より深く掘り下げてみたいテーマを選んで共同研究を行い、その成果を発表します。(※ゼミ生の希望に応じて内容変更の可能性あり。学生からの希望で、昨年はディベート、一昨年は3つの「経済実験」を行いました。)

最終的には、受講生全員が、代表的な経済情報紙である「日本経済新聞」を読みこなし、それらの情報を批判的に検討し、自らの考えを展開できるようになることを目標としています。また、経済(経済学)の楽しさ、面白さを実感しながら、大学で学ぶために必要な基本的スキルを磨くことも目標の一つとして考えています。

**教科書・使用教材：**

(教科書)『世の中の見え方がガラッと変わる経済学入門』川本明/矢尾板俊平/小林慶一郎/中里透/野坂美穂【著】、PHP 研究所(2016年)

(使用教材)日本経済新聞

※その他、必要に応じて経済入門書や参考文献を提示いたします。

**受講希望者に対する希望：**

「経済」と聞くと難しいイメージを持つかもしれませんが、「経済」というのは、決して本の中だけの議論ではなく、私達が日常行っている活動の集まりであり、「現実の生活」そのものです。ですから、私達が「経済」について知るということは、人々がどう考え、行動し、世界全体としてどのように機能しているのかを知ることだと言えます。それによって、私達は、経済・社会が将来どのような方向に向かって進んでいくのかということを見通す力(洞察力)を養うことができます。そのため、演習では、様々な問題に関心を持って何事にも積極的に取り組む姿勢が求められます。このゼミで何を求められるかは、皆さんの努力にかかっているといえます。

**準備学習の内容：**

受講生には、毎日「日本経済新聞」を読んで経済情報を集め、現実経済の動きを追いかけてもらいます。また、毎週、その中から自分がとくに重要だと考える経済時事問題を取り挙げて、その問題についての自分の意見(自分はどのように考えたのか)を準備する必要があります。

**履修推奨科目：**

ミクロ経済学、マクロ経済学、数量経済分析

**成績評価方法：**

演習への貢献度 50%、演習課題(授業時発表を含む) 30%、目標到達度評価 20%

教員の研究分野…グローバル経済の分析と経済政策、経済成長理論と経済成長政策に関する研究

募集人員…15~20名程度

募集方法…初回ガイダンス時に配布する身上書の提出による書類選考

政経教養セミナー投稿	2019年度	無
	2020年度	無

**演習テーマ：数学とは何か（幾何学を中心に）**

**授業内容・授業到達目標：**

数学は、義務教育でも沢山学んで来たと思いますが、数学の厳密な展開や歴史は、高校でもあまり詳しくは学んではいないのでは無いかと思います。

この演習では、やさしい幾何学から始めて、厳密な学問としての幾何学を学びます。演習は本来、学生が中心となりゼミを行うものですが、コロナウイルス問題もいまだ予断を許しません。この演習も教員による講義と学生の発表を合わせた対面講義と遠隔講義の両方に対応できるように準備しています。

春学期は、ユークリッドの原論をテキストとして、幾何学の厳密な展開を学習します。テキストは読みづらいため、教員が解説と解釈をつけて講義します。原論は紀元前三世紀に書かれた書籍で、幾何学の歴史は長く変化に富んでいます。ここでは非ユークリッド幾何学についての話題も講義します。

秋学期は清宮俊雄の幾何学をテキストにして、幾何学の面白い定理を解説講義してゆきます。おそらく多くの学生は今まで知らなかった興味深い定理に出会う事でしょう。

例年だと、学生の発表が中心でしたが、現状下では教員の準備したファイルによる解説とテキストの読解が主となります。

詳細はガイダンスで説明します。

**教科書・使用教材：**

- (1) ユークリッド：原論、共立出版
- (2) 清宮俊雄：幾何学、フォーラム・A
- (3) 寺阪英孝：非ユークリッド幾何の世界、講談社

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

予備知識としては、高校 2 年時までの数学をしっかりと学習しておくこと。

**成績評価方法：**

春学期 2 回、秋学期 2 回のレポート提出で判定する。

教員の研究分野…位相幾何学および数学思想史

募集人員…10 名以下

募集方法…最初のガイダンス後の登録で決定するが、多数の場合は作文の提出。

政経教養セミナー投稿	2019 年度	無
	2020 年度	無

演習テーマ：プレゼンテーションで世界を変える！～TEDの世界～

授業内容・授業到達目標：

プレゼンテーション・スキルは、在学中にも、また社会に出てからも、現代では必須の能力だと言えます。今や実社会では、その能力が一生を決定すると言ってよいほど重要な資質にさえなっています。

このゼミでは、TEDで公開されている世界的なプレゼンテーションの分析と学習を通じて、各自のプレゼンテーション・スキルの向上をはかるとともに、超一流のプレゼンテーションによって表現されている最先端の科学から、芸術や人生の意味に至るまで、その内容についても理解を深めたいと思います。

TED (Technology, Entertainment, Design) は、毎年一回開催される大規模な世界大会のほかに、各地でも活発なプレゼンテーションの会が開かれて、その模様をインターネット上に公開している非営利団体です。

TEDのステージには、ビル・ゲイツやアル・ゴアなどの著名な人物のほか、文化、芸術、科学、エンターテインメントなど、あらゆる分野から「超一流」のプレゼンターが登場し、10分から20分のプレゼンテーションを行います。聴衆も、ジャーナリストから学術関係者まで極めて高いレベルの人々ばかりですので、TEDの会場で聴衆を引き付けることは、至難の業だとも言われています。そのためTEDのプレゼンテーションは、どれも非常に説得力があり、「世界を変える」ほどのインパクトを持つものさえあります。

TEDで行われるプレゼンテーションは英語ですが、TEDのインターネットサイトでは日本語の字幕も完備しているので、英語に自信のない人でも問題ありません。また、字幕付きであっても、一年を通じて大量の英語プレゼンテーションを見ることになりますので、副次的にリスニング能力の向上にもつながります。

授業では、毎回、各担当者が予めTEDのサイトから選んでおいたプレゼンテーションの内容を解説することにより、自分自身のプレゼンテーション能力の向上を図ります。

参考URL：<http://shibasaki.fine.to/ted/>

教科書・使用教材：

使用しません。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

PCがなくても授業の準備は可能ですが、所有していないと何かと不便です。出来るだけ自分専用のPCを準備するようにしましょう。初回の授業で、ビデオのダウンロード方法、字幕の加工方法などを解説します。

成績評価方法：

授業時でのプレゼンテーション 60%、ディスカッションの貢献度 30%、レポート 10%

教員の研究分野…環境思想・科学技術社会論・応用倫理学

募集人員…10名

募集方法…Oh-o! Meiji のクラスウェブ・アンケートコーナーに掲示されている「エントリーフォーム」に必要事項を入力してください。入力には、クラスウェブ上で、この授業を「仮登録」することが必要です。締め切りはガイダンス当日の午後5時です。

新1年生で Oh-o! Meiji の利用方法がよく分からない場合は、「志望動機」(300字程度)と「自己PR」(200字程度)を予め考えておくと、後の入力が容易です。コロナウイルス感染防止のため、初回のガイダンスはオンデマンド(録画)で行う予定です。詳細はクラスウェブでお知らせします。

政経教養セミナー投稿 無



### 演習テーマ : 舞台芸術の魅力

#### 授業内容・授業到達目標 :

舞台芸術を鑑賞し、感想や意見を語り合う。

演習テーマでいう「舞台芸術」の対象ジャンルはストレートプレイ (普通の演劇)、ミュージカル (宝塚歌劇団・劇団四季など)、ダンス、日本舞踊、舞踏、オペラ、バレエ、能、狂言、歌舞伎、文楽、伝統芸能、郷土芸能、人形劇など舞台上で鑑賞できる芸術作品を指す (J-POP、K-POP、お笑いやコント、ジャニーズなどアイドルを主体とした舞台、スポーツ競技は除く)。各自がそれらを鑑賞した経験をもとに受講生の前で自身が感じた魅力を存分に語って欲しい。

授業では鑑賞した舞台芸術のデータ、具体的な映像 (教室内のBlu-ray&DVDプレイヤー、パソコンからYouTubeで視聴可能)、意見をレジュメにまとめ、口頭発表のあと、全体で質疑応答を行う。この作業を経ることで単に「おもしろい」「すごい」といった率直な感想から、批評的な言語を獲得し、「舞台芸術」に対する印象を理論的に語れるようになることを到達目標とする。パワポ、紙媒体など発表の形式は一切問わない。舞台芸術への強い愛情が全てである。

これまでに以下の発表があった。

劇団☆新感線の魅力 / 学生演劇について / 宝塚歌劇団について / バレエの魅力 / 2.5次元ミュージカルの世界 / 「エリザベート」の魅力 / 劇団四季について / 歌舞伎の世界 / 「キャッツ」の素晴らしさ / オペラ「アイダ」の演出 / 三谷幸喜のコメディ、など

受講生が自身の感性を磨くことはもとより、他の受講生の発表を通して多くの舞台芸術に触れ、多様な価値観を理解し、さらなる挑発の〈ステージ〉へ導かれることを期待している。

#### 教科書・使用教材 :

授業中に適宜指示する。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

舞台芸術の鑑賞に意欲的であること。授業に積極的に参加すること。他者の価値観を尊重すること。人として礼儀正しくあること。休まないこと。体調管理をしっかりとする事。

春学期と秋学期にそれぞれ 1 回 (年間 2 回) の発表と毎時間の発言を求める。知らない分野でも臆することなく発言すること。

また日頃より劇場などに足を運び多くの舞台芸術に触れること。

#### 成績評価方法 :

発表内容 40%、各学期末レポート 30%、演習への貢献度 30%

教員の研究分野…日本近代文学、現代演劇批評、国語科教育法

募集人員…20 名程度

募集方法…初回授業時に決定。最初の授業に必ず出席のこと。

政経教養セミナー投稿 無

演習テーマ : Language mysteries

授業内容・授業到達目標 :

Language is an important tool we all use in our daily lives. We will go on a roundabout tour of language concepts through the lens of linguistics, and consider questions such as: What is the relationship between culture and language? Do Japanese and English speakers really communicate differently? What happens if a child begins life without language? How do first language and second language acquisition differ? How does an artificial language differ from a natural language?

We will use various media to explore language. You will have discussions in groups and as a class. You will lead the class on linguistic related topics of your choice. You will learn *Toki Pona*.

The primary aims of this course are for you to :

- 1) Improve your ability to comprehend English texts
- 2) Think critically about various social issues
- 3) Discuss and exchange ideas with your peers

教科書・使用教材 :

No text. Materials distributed to the class.

受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

Bring your motivation !

成績評価方法 :

Class Participation 20%; Quizzes 20%;

Writing 30%, Leading Class Discussion 30%. This class can be taken for 2 ACE credits.

2 単位分については「ACE 修了 要件」の一部として読み替え可能とする。

教員の研究分野…言語学

募集人員…12 名まで

募集方法…初回のガイダンス時に決定

政経教養セミナー投稿 有 (2020・2021 年度)

**演習テーマ：サッカーを語り尽くす**

**授業内容・授業到達目標：**

春学期は、去年度果たせなかった「ヨーロッパ選手権」について調べて発表するという形式になります。2020 年に開催予定だったヨーロッパ選手権は今年に延期になっています。履修者は、春はまず出場国別に担当を決めて、自分が担当した国のサッカー事情やなぜサッカーが盛んなのか (盛んでないのか、でもいい) を詳細に発表することになります。

秋学期は、春学期のような縛りはないので、各自の抱えるサッカーへの興味・関心に沿って発表する時間とします。基本的に何でもありますが、差別的なものは認めません (たとえば、女子サッカー選手の美醜についてのランキングとか……)。

学生の関心がこの数年、オンラインだけだった去年は特に、戦術面に特化してきているような気がします。それはそれでいいのですが、サッカーをもっと幅広く語る必要もあるかもしれないと思っています。

**教科書・使用教材：**

特に決めていません。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

幅広くサッカーに接することを勧めますが、たぶん学生は動画サイトが好きだと思います。それ以外の楽しみ方 (観戦、読書など) も模索してほしい。準備学習は特に必要ありません。もしオンラインになった場合は、学生一人一人の「準備」がすべてですが、それについては初回に説明します。

**成績評価方法：**

発表内容がほぼ 70%、授業への貢献度が 30%

教員の研究分野…フランス文化論、フランス語圏文学研究

募集人員…25 名程度

募集方法…基本的には選抜したくないので、25 名程度を上限に、可能な限り受け入れます。

ただ、それを超えた場合は、小レポートを出してもらって選抜判断することがあります。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：ソーシャル・ビジネス／ファイナンスから貧困・格差を考える**

**授業内容：**

これまで貧困や格差の問題は、政府の経済活動すなわち財政と社会保障の問題とみなされてきました。これに対してこの授業では、近年注目を集めるソーシャル・ビジネスとソーシャル・ファイナンスに焦点を当てます。

経済学は、創始者ケネーやアダム・スミス以来、「いかにして貧しさを克服し、豊かさを実現するか？」を探求する学問であったといえます。いわゆる先進諸国では、第2世界大戦後から1980年代までの間はたしかに国民の生活水準は向上し続けました。しかし、90年代以降これらの国においても、貧困や不平等（＝格差）があたりまえのように語られています。大学で学ぶ経済学では、企業は自己利益の最大化を目指して行動すると仮定されます。しかしここで取り上げる企業や金融機関はそれだけにとどまりません。社会的またはグローバルな課題解決(貧困、環境、地域振興、文化芸術など)と利益追求との両立を目指す事業です。近年脚光を浴びるSDGsやESGもこの流れにあります。

授業で行う具体的活動としては、第1に、学期末ごとにレポートを作成するかもしくは共同論文を執筆します。第2に、OECD、ILO、IMFなどの国際機関資料を読む練習を行います（人数と時間次第）。

**授業到達目標・受講希望者に対する希望**

文章の読み方と書き方、文献・資料の集め方、プレゼン、ディスカッションといった、今後の大学と社会人生活の中で必須のスキルを身につけることが目標です。したがって、これらの作業に積極的に取り組める人の履修を期待します。

**教科書・使用教材：**

渋澤健『SDGs 投資』朝日新書、菅正弘『マイクロ・ファイナンス』中公新書、谷本寛治『企業と社会—サステナビリティ時代の経営学』中央経済社、夫馬賢治『ESG 思考』（講談社＋α新書などから数冊を選ぶ）。

**成績評価方法：**

授業における発信・行動（50%）、レポート内容（50%）

教員の研究分野…資本主義経済の研究、経済学の歴史

募集人員…10名程度

募集方法…面接（初回授業時に行う。自己紹介文を用意しておくこと）

教授 高峰 修 水曜 2 時限 (通年)

担当科目 : 運動学演習、身体文化論、教養基礎講座 (ジェンダー論)、専門演習

演習テーマ : 「1964 年東京オリンピックをめぐるフィールドワーク」

授業内容・授業到達目標 :

2020年7月に開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピック大会は近代オリンピック史上初の延期となり、今年の夏に開催されるのか未だ不透明な状況にあります。

ご存じだとは思いますが、東京でオリンピック大会が開催されるのはこれで二度目のこととなります。今回の大会開催に向けて国立競技場を初めとしていくつかのスポーツ施設が新築・改築され、これらは大会後のレガシーの一つになると言われています。他方では、これらの新しいスポーツ施設は将来的に赤字を生み、負の遺産になるという主張もあります。

ところで、前回の1964年大会で使用されたスポーツ施設は現在、どの程度利用され、施設運営はうまくいっているのでしょうか。今年のゼミでは、1964年に東京で開かれたオリンピックとパラリンピックの施設を対象としたフィールドワークを行います。

具体的には各施設の情報の下調べし、実際に各施設を訪れてその状況について調査します。さらに調べた内容をまとめ、専用のwebサイトで公開します。

皆さんは大学に入学して高校までとは違う授業を受けますが、どうしても理論が先行してしまい、大学における学びをどう活かせるのか、今ひとつ実感できていないのではないのでしょうか。フィールドワークは、各自が社会における問題を発見したりその問題解決に大学での学びを結びつける方法論としての意味をもちます。

スポーツやオリンピックに興味がある学生さん、フィールドワークに興味がある学生さん、またwebサイトの管理運営などに興味がある学生さんをお待ちしています。

教科書・使用教材 :

受講者に参考図書リストを配布します。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

オリンピックやスポーツの好き嫌いは関係ありません。フィールドに出て調べたり話を聞いたりすることに挑戦したい学生さんが受講してくれることを期待します。実際のフィールドワークは授業時間外に各自で行うことになりますので、この時間を各自で確保できることが大前提です。

成績評価方法 :

フィールドワークへの取り組み 50%、授業への取り組み 30%、課題の達成度 20%

教員の研究分野…スポーツ社会学、ジェンダー論

募集人員…最大 15 名

募集方法…エントリーシートと面接による (応募人数によって変更の可能性あり)

政経教養セミナー投稿	2018 年度	有
	2019 年度	有

**演習テーマ：理論と実践を通して自身の身体を知る**

**授業内容・授業到達目標：**

健康の維持・増進や体力向上のためには、正しい知識を身に着け、日々継続して運動を行う必要があります。しかしながら、20歳代の運動実施率は男性で約25%、女性で20%未満と高いとは言えません。また、運動は健康に良いことは誰でも知っていますが、運動を行うと身体ではどのような適応が起きるのか、どのような運動をどのように行うのが良いか十分に理解されていません。

本授業では、スポーツ科学的観点（運動生理学、スポーツ医学、運動栄養学、トレーニング学等）から運動・トレーニングを理解し、自分の嗜好や目的にあった運動処方確立する授業です。春学期はレジスタンストレーニング（筋トレ）の正しい方法について学び、実践することで身体の適応についてみなさん自身で実感してもらいます。秋学期は持久性トレーニングが中心となり、自分にあった走速度の見つけ方や自身の筋線維割合の推定などを行います。理論ではスポーツ科学に関する書籍や論文（日本語、英語）の輪読会を行い、最新の知見を理解すると共に自身の生活・トレーニングに取り入れることを目指します。一年を通して皆さんの身体について学び、将来的に自分で考え運動を実践できることが目標になっています。

**教科書・使用教材：**

運動生理学 20 講（朝倉書店）

筋肉の科学（ベースボールマガジン社）

乳酸サイエンス（市村出版）

また、追加資料を指示・配布することがあります。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

普段から積極的に運動・トレーニングを行うことを推奨します。この授業では強度の高い筋トレ、20m シャトルラン等激しい運動を行いますので注意してください。受講にあたって、特別な準備学習の必要はありませんが、スポーツ科学に関する専門用語や英語文献を取り扱うことを理解した上で受講してください。トレーニングウェア、運動靴（体育館用、屋外用）は各自で準備してください。

**成績評価方法：**

授業への取り組み度合い 50%、授業内での発表 50%

教員の研究分野…運動生理学、分子生物学

募集人員…15 名程度

募集方法…希望者多数の場合はスポーツ科学に関するレポート課題を課します。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：アジアの中の日本**

**授業内容・授業到達目標：**

「アジア」は、日常生活で誰もがよく聞く馴染み深い単語かと思います。グローバル化が進む現在では、日本と近隣のアジア諸国との関係はより密接になっています。アジア諸国からの渡航者、留学生、就労者は増加し、近隣のアジア諸国へ向かう日本人渡航者、留学生、就労者も増加傾向にあります。文化面でも、日本で韓流ブームが起きたり、東アジア・東南アジア地域では、アニメや漫画などの日本のポップカルチャーや日本食の人気が高まったりと、いわゆる「文化交流」が進んでいます。また、やや変わった形で日本の文化が紹介されることもあります。例えば、最近のタイでは、民主化を求める若者による反政府デモのシンボルに、日本のアニメ「とっとこハム太郎」のキャラクターが使われていました。

本演習では、文化交流を糸口に、「日本とアジア諸国の関係」、「アジア諸国の社会情勢」、「アジアから見た日本の姿」を様々な視点から考えていきます。授業では日本を含むアジアを舞台とした映画、ドラマ、小説を批判的に考察し、政治、国際関係、経済等に関する問題を広く議論していきます。アジア情勢を多角的に分析することで、ロジカルシンキングやクリティカルシンキングといった社会科学に必要な「思考力」を養うことを目標とします。

**教科書・使用教材：**

教科書は使用しませんが、参考文献を授業中に提示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

授業中の議論に積極的に参加できるように、提示された文献には目を通してください。また、プレゼンテーションを何回かすることになるので、情報収集や発表の準備をしっかりとしてください。授業内で取り上げる課題に一つの答えはありません。日頃から、「自分で考えること」を心掛けてください。

**成績評価方法：**

プレゼンテーション 50%

演習への貢献度 (ディスカッションへの参加等) 30%

レポート 20%

教員の研究分野…東南アジア政治、ナショナリズム、多文化主義

募集人員…15名程度

募集方法…面接

政経教養セミナー投稿 無 (2016・2017年度 授業担当なし)

**演習テーマ : 自然と関わるスポーツ活動～自然体験活動～**

**授業内容・授業到達目標 :**

「自然体験活動」とは、自然の中で自然を活用しながら、身体や五感を使って行われる活動をいいます。現代社会では情報から得られた知識が先行し、体験を通して得られる実際的な知識の不足を生み出しているといわれています。この結果、体力や運動能力、人や自然に対する感性、表現力やコミュニケーション能力、規範意識、命を大切にしている心情などの低下が指摘されています。われわれ人間も自然界の生き物であることを再認識し、仲間や多様な人々との関わりを通して感性を豊かにし、自己概念や対人関係能力などを高めることが大切であると考えます。

海や山をフィールドにした自然体験活動を行うには健康や基礎体力は不可欠です。スポーツやレクリエーションといった身体活動を通して、健康・体力づくりについての認識を高め、コミュニケーションやコラボレーション(協働)等の様々な能力を高めるとともに、様々な活動がスムーズに運営されるためのマネジメント力を学習することを目標としています。

具体的には、本演習の実践の場として 1 年間に 2～3 回の実習(合宿または日帰り)を予定しています。夏季は海洋性レクリエーション(シーカヤックなど)、秋季はハイキング、冬季はスノースポーツ(スノーボードなど)を行い、様々な自然体験活動を体験しながら、実習の運営についても理解を深めます。

**教科書・使用教材 :**

適宜資料を配付します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

各活動は原則として必ず全員参加とします。学外における活動を含むため、スケジュールの調整ができる方を希望します。

活動経験は問いません。プールにおいて授業を実施することがあるため、100m以上の泳力があることが望ましいですが、難しい場合には時間外にも水に親しむ努力をしていただく必要があります。

スポーツが好きだけでなく、何事にも興味を持って自発的に取り組んでみようとする姿勢を強く望みます。授業に参加するための心と体の準備をし、自分の考えを企画・提案できる(ようになる)ために、主体的に参加することを望みます。

**成績評価方法 :**

学外実習に関する貢献度 75%、演習および実習運営への貢献度 25%

教員の研究分野…野外教育、海洋性スポーツ、スポーツ運動学

募集人員…10 名程度

募集方法…初回ガイダンスにおけるエントリーシートによって選抜します。応募者多数の場合はエントリーシートを参考に決定します。

政経教養セミナー投稿 無



## 演習テーマ：夏目漱石と村上春樹を読む

## 授業内容・授業到達目標：

近代と現代をそれぞれ代表する人気作家・夏目漱石と村上春樹の作品を読解する。

高浜虚子に誘われて英文学者・夏目金之助が気楽な気持ちで「吾輩は猫である」を書いたのは、いまから100年以上前のことである。これは作家・漱石誕生の契機となる意味深い出来事だが、その後朝日新聞社専属の職業作家になった漱石は、「明暗」執筆中の大正5年に病死するまでのわずか十数年の間に、「坊ちゃん」や「三四郎」、「それから」といった、こんにち名作の名で呼ばれる小説をつぎつぎと発表した。これらの作品のなかで漱石は親子や兄弟、夫婦といった人と人との関係を繰り返し描いたが、それは現代の私たちが人と結ぶ関係とそこに胚胎される問題となお、深く連接しているといつてよい。

1979年の群像新人文学賞受賞作『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、これまでに多くの読者を獲得してきた。彼の小説のなかの断片的な物事やさりげなく写しとられただけに見える場面は、注意してみると、実は作品のテーマそのものに深く結びつく重要な鍵である場合が少なくない。こうした彼の小説はどのようにすれば、より深く読むことができるだろうか。このゼミではこれらの小説を分析的に読むことにより、夏目漱石と村上春樹の作品世界の再構築を試みたい。

ゼミ員は各自、担当した箇所についての研究成果をレジュメにまとめたうえで口頭発表し、全員で討論をしながら相互に理解を深める。つぎのような小説を研究対象とする。

夏目漱石：『坊っちゃん』明39 『三四郎』明41 『それから』明42 『こころ』大3(すべて新潮文庫)

村上春樹：『風の歌を聴け』1979(講談社文庫) 『蜚・納屋を焼く・その他の短編』(全5編)1984(新潮文庫) 『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』(上・下)1985(新潮文庫) 『ノルウェイの森』(上・下)1987(講談社文庫)

以上の小説を通読すること、口頭発表・質問・討論についての基本的な技術を身につけることを到達目標とする。

## 教科書・使用教材：

上記の計10冊

## 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

積極的に発言できる学生を歓迎する。また他のゼミ員に迷惑をかけないように、とくに発表者と司会者は無断欠席などをしないように心がけてほしい。ディスカッションの準備として、事前に当該作品を通読しておく必要がある。

## 成績評価方法：

発表内容60%、演習への貢献度40%

教員の研究分野…近代日本の文学・文化

募集人員…10名程度

募集方法…初回の授業時に決定

政経教養セミナー投稿	2019年度	無
	2020年度	無

**演習テーマ : 「パブリック・アート」をはじめとする視覚文化から考える現代社会**

**授業内容・授業到達目標 :**

“Seeing is Believing.” という諺があるように、目に見えるものがわたしたちのものの考え方に及ぼす影響は大きい。このゼミでは「パブリック・アート」をはじめとする共同体の中の視覚的なものを通して、わたしたちの生きる生活空間がどのように創造・操作されているか、ということ考察することを目的とします。

「パブリック・アート」とは一般に、ある特定の意義や目的のために公共空間に設置・演出される芸術作品であり、あらゆる媒体をもちうる、とされます。事例として、上野公園の『西郷隆盛の銅像』など、共同体に貢献した人物の銅像や戦争犠牲者追悼の記念碑などがすぐに思い浮かぶように、「パブリック・アート」は特定の時代や場所、そして公の場所を管理管轄する政治権力と密接に結びついてきました。共同体支配権力との強い関係は旧ソヴィエトや共産主義諸国に見られる記念碑などに明確に現れます。政治的に開かれてセンサーシップが緩やかな社会においても、公の空間に展開される「パブリック・アート」は、それが創造される時代の精神を色濃く反映させています。例えばロンドンの中心地トラファルガー広場に一時設置されていた身体的に不自由な女性の銅像は、言うまでもなく従来の「美」の定義に挑戦し、不自由を持つものへの差別を取り去る準備ができてきた理想的現代社会を象徴するものでした。

このゼミでは、「偉人像」などから近年次第に共同体に置ける意味を変えてきた「パブリック・アート」という「芸術作品」の一領域にとどまらず、道路標識などのサインや、以下に説明するような意味で落書きなども含めて、共同体に積極的・消極的に影響を与えている視覚文化の具体的な現れを観察・考察していきます。

「落書き」や、共同体に「正式」に認められた「パブリック・アート」に対抗的に出現する「ゲリラ・アート」も、「反権力」へのアンチテーゼとしての「アート」としてだけでなく、その存在が短時間であっても可能である社会を含意するという意味で考察する価値のある表現と言えるのです。

ゼミ参加者には前期・後期一度ずつ、特定の身近な、あるいは知識として知っている具体的な視覚文化事象・事物を選んで紹介・発表・分析していただきます。最終的には『政経教養セミナー』に掲載する論文を作成します。

**教科書・使用教材 :**

随時指示します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

身近な、また、様々なメディアを通してわたしたちが絶えずさらされている「目に見えるもの」に注意しながら暮らしてみてください。

**成績評価方法 :**

出席 20%、プレゼンテーションとディスカッション 50%、『政経教養セミナー』への取り組み 30%

教員の研究分野…英国・アイルランドの文化、視覚文化と社会

募集人員…10～15名

募集方法…ガイダンス時に説明します。

政経教養セミナー投稿 2019・2020年度 無

**演習テーマ：自転車の文化と歴史～未来をひらく乗り物**

**授業内容・授業到達目標：**

自転車は、19世紀初頭にその原型(ペダルのないドライジーネ)が登場して以来、産業革命期を経て、19世紀後期に現在の自転車の形がほぼ完成した。

エンジンやモーターを必要としない自転車は、もっともエネルギー効率の高い、しかも、健康や環境にも優しい乗り物として、近年、新たな視点から注目され始めてもいる。

そんな自転車発達の歴史・社会文化的な背景や、実際に乗車することの技術や注意点を含めて、自転車という乗り物を多角的に研究・検証する。

もちろん、実地に自転車に乗って、サイクリング等の実地活動も行う。

まずは、都内の近距離コース(ミニサイクリング)から始めて、夏休みには、合宿も兼ねて、やや長距離のサイクリングも行う予定である。

自転車の経験がある人の方が望ましいが、とりあえず、自転車に乗れさえすればよいだろう。

**教科書・使用教材：**

教科書：疋田智『自転車生活の愉しみ』(朝日文庫)

参考図書：岸本孝『自転車の事典』(文園社)

河村健吉『自転車入門―晴れた日はスポーツバイクに乗って』(中公新書)

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

特になし。

**成績評価方法：**

演習への参加度 50%、レポート 50%

教員の研究分野…英文学

募集人員…12名程度

募集方法…最初の授業にて選抜するので、必ず出席のこと。

政経教養セミナー投稿 有

**演習テーマ：現代ドイツ政治談議**

**授業内容・授業到達目標：**

この演習では受講生の皆さんが一年を通じてたくさんの本を読み、活発な議論を行う場を提供したいと思っています。その結果、毎日の読書習慣が自然と身につく、他のゼミ生との語らいを通じて知性が磨かれ、人間性が育まれることを期待しています。

本年の演習テーマは「現代ドイツ政治談議」としました。教養演習の上述の目的を達成するためなら、本来お題目は何でも良いのですが、私の場合は在外研究のため一か月前までドイツで暮らしていたので、「座談」に花を咲かせることができるとしたらやはり「政治談議」だろうと考え、このテーマを選びました。授業中の「脱線」、もしくは授業が始まる前後の友人や先生との「雑談」にこそゼミの醍醐味があると信じるからです。大学に通う意義も、通学の途中で出会う人や風景も含めて、こうした「余白」の部分にこそあるのではないのでしょうか。どうやらこの一年でこの事がすっかり忘れ去られ、しかも進んで忘れることが美德であるような世界になってしまったので、あえて書いておきます。

ただし、この「政治談議」には芸が要ります。話し手と受け手のあいだで知的な「笑い」が成立するためには、その前提となる共通知識や共通認識というものがが必要です。つまり、たくさん本を読んでもらうということです。読書する習慣を身につける気がない学生は私のゼミには向いていません。向いていないだけでなく単位も出ませんからご注意ください。

**教科書・使用教材：**

以下の文献は教科書ではなく、使用教材の一例です。それぞれの著者がどのようなスタンスで現代ドイツを見ているかをおさえながら読書する訓練もしていきます。

佐藤伸行：『世界最強の女帝—メルケルの謎』文春新書、2016年

川口マーン恵美：『そしてドイツは理想を見失った』角川新書、2018年

三好範英：『本音化するヨーロッパ—裏切られた統合の理想』幻冬社新書、2018年

熊谷徹：『欧州分裂クライシス—ポピュリズム革命はどこへ向かうか』NHK新書、2020年

高野弦：『愛国とナチの間—メルケルのドイツはなぜ躓いたのか』朝日新聞出版、2020年

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

- ・ 上述の授業内容の趣旨に賛同できる学生の参加を希望します。
- ・ 読書、レジュメ作成

**成績評価方法：**

演習への貢献度 50%、授業時の発表内容 50%

教員の研究分野…ドイツ文学

募集人員…7、8名

募集方法…初回授業時に選抜する

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：台湾（文化）研究****授業内容・授業到達目標：**

台湾の面積は、36,000平方キロメートルである。オランダよりやや小さく、ベルギーよりは広い。人口は2360万人で、オーストラリアよりやや少ないが、オランダやチリより多く、チェコ、スウェーデンの二倍以上である。GDPはスイスの少し下、スウェーデン、ベルギー、オーストリアより多い。ということで国力がかなり大きいことはあまり知られていない。

台湾は身近な国で、訪れる人も非常に多いが（しかし、台湾人の方が二倍以上、人口の四人に一人が日本に来ている）、日本では知られていない事実が多すぎる：なぜ台湾の高齢者に日本語を流暢に話せる人がいるのか、なぜ台北のMRTは四カ国語でアナウンスを行うのか、台湾語と台湾華語は違うのか、台湾華語と中国語はどう違うのか、正體字（繁体字）とはなにか、注音符號（ㄅㄆㄇㄉ）とはなにか、なぜ道教の媽祖廟に観音菩薩像があったりするのか、なぜ台北、西門町の媽祖廟（天后宮）には弘法大師像があるのか、そもそも媽祖とはどういう神なのか、外省人と本省人とはなにか、「原住民」とはどういう人々なのか、現総統の蔡英文にはパイワン族や客家の血が流れているというが、パイワン族、客家とは誰か、民進黨と國民黨とはなにか、香港の民主化運動「雨傘運動」へ影響をあたえた台湾の「ひまわり運動」（「太陽花學生運動」）とはなにか、李登輝とは誰か、といった問題を扱い、話し合う。

**教科書・使用教材：**

新井一二三『台湾物語―「麗しの島」の過去・現在・未来』筑摩選書。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

台湾にポジティブな関心を持ち、みずからも色々と調べ、動いてもらいたい。ちなみに媽祖廟や関帝廟は横浜中華街にもあったりする。

**成績評価方法：**

演習への貢献度（50%）、報告のクオリティー（50%）による。

教員の研究分野…比較言語学、人生論

募集人員…6、7人

募集方法…人数に関わらず、面接は行う。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ : 町づくりを考えてみよう****授業内容・授業到達目標 :**

人は互いに支えあって生きているという見地から自分と社会の関わりを考え、各自の将来のフィールドで主体性を持ち能動的に提案・行動できるような姿勢を学びます。日本のグローバル化に伴う合理化によって、日本の原風景とともに日本人の心が失われつつある今日、行政や行政区画とは関係なく存在してきた伝統的歴史的文化や風習を守り、住みよい地域社会を実現するためには何ができるかという問題を考えます。地域に根ざす風土は地域のアイデンティティーとも言えますが、それは、伝統的・歴史的文化に裏打ちされた、地域を支える精神となっていることが少なくありません。しかし、経済効果を優先した一極集中型の大都市の肥大化により、これらの地域は大都市に融合し、その一部としての機能を持つようになります。それは「発展」という言葉で包括されることですが、その地域の持つ美しい個性、伝統、地域の文化に根ざした産業、町の美しい景観までもが失われ、人々の守り伝えてきた精神性も失われてきたと言えるでしょう。これらはグローバリズムがもたらした悲劇です。この面に焦点を当て、町づくりという観点から空間のデザイン、地域と地域住民を繋ぐ精神的アイデンティティー、地域の求心力となるものの重要性を考え、自らが所属している地域や好きな街の特色、行政、NPO 活動などに目を向け発表してもらいます。そして理論から実際の現実へと目を向け、次世代を築く責任が自らにもあるという姿勢を忘れずに前向きに日本の未来の社会のあり方を考えていきましょう。

**教科書・使用教材 :**

必要に応じてプリントを配布します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

フィールドワークをするので、積極的に自ら考え、行動する学生を歓迎します。

**成績評価方法 :**

演習への貢献度 50%、発表 25%、レポート 25%

**教員の研究分野**…18世紀におけるフライマウレイとヨハン・ヨアヒム・クリストフ・ボーデ (具体的には、フライマウレイの中に、18 世紀におけるドイツ社会の共和制や民主主義思想の萌芽、並びに社会を動かす原動力を見る)

**募集人員**…15 名程度

**募集方法**…アンケートと面接によって選抜

<b>政経教養セミナー投稿</b>	2019 年度 (第 45 号)	有
	2020 年度 (第 46 号)	執筆中

**演習テーマ：中国語原文史料で考える中国現代史**

**授業内容・授業到達目標：**

中国の国際的プレゼンスの向上は、好むと好まざるとに関わらず、認めるほかない時代である。中国理解を抜きに、「世界」というパズルは解けなくなっている。

「世界のなかの中国」を考察するための第一歩はとにかくにも、中国人や中国語話者の言葉に触れてみることだ。欧米中心・英語中心・ブルジョア民主主義中心では全く想像もつかないような発想がそこには広がっている。

本年度はまず春学期には、『人民日報』や『環球時報』『南方都市報』などの新聞記事を全訳し、教員が解釈を加える。熱心に訳してくれれば、「言論の自由のない哀れな中国」のイメージは再考を迫られることになるだろう。秋学期にはゼミ生の関心に応じて、中国現代史における重要文書をひたむきに訳し、同じく教員が解釈を加えていく。具体的に何を読むかは決めていないが、毛沢東や周恩来、鄧小平らの文章がとりあえずは念頭にある。

なお、大学が認める限りは対面授業を行うので、対面授業に参加可能な学生を募集する。

**教科書・使用教材：**

プリントを配布する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

中国への強い関心を有し、中国語読解能力の向上に意欲を持っている学生の受講を歓迎する。また、語学力の向上には時間がかかるため、通年 4 単位ではない半期 2 単位の履修は認めない。

毎回、「次回翻訳範囲」として指定された箇所を全訳をしてもらうこと。翻訳する量は決して少なくないが、少なくとも対面授業が行える場合には、中国語力と中国理解の向上に有意義な演習になることを約束する。

なお、学習内容の性質上、中国語母語話者の履修は認めない。

**成績評価方法：**

演習への貢献度 100%

ただし、中国語読解能力の向上を意図した演習である以上、Google翻訳などで翻訳してきた場合は不合格とする。

教員の研究分野…中国近現代史、現代中国論

募集人員…8 名以内

募集方法…初回に必ず出席すること。なお、初回に中国語の基礎知識のテストを実施する場合があります。

政経教養セミナー投稿	2018 年度 (第 44 号)	無
	2019 年度 (第 45 号)	無

**演習テーマ：ダンス・身体・映像**

**授業内容・授業到達目標：**

生まれてこのかた踊ったことがない、という人はまずいないでしょう。高校時代は踊っていた人も多いようです。大学に入ったのでダンスはもう卒業、と思う人、卒業するのは少し早すぎるかもしれません。まだ見たことがないダンスの世界が広がっています。「こんなことができるのか!」と驚かされるものから、「これもダンスなの?」といぶかしく思うものまで多様な世界です。

このゼミの目標は、さまざまなダンスを見て、興味の幅を広げていくことです。とはいえさまざまなダンスを見尽くすことはできないので、今年はダンスの歴史を振り返ります。バレエから、ミュージカル、現代ダンスに至るまで、様々なものを取り上げる予定です。

さらにダンサーをゲストに招いて、少し体を動かす予定です。昨年度は阿利さん(古代舞霊研究所)、大手可奈さん(コンテンポラリーダンス、バレエ)にオンラインでワークショップを開いていただきました。

**教科書・使用教材：**

『ダンス・バイブル(増補新版)』乗越たかお著 (河出書房新社 3,080円)

様々な映像を用いて、様々なダンスに触れてもらいます。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

全くダンス・バレエを見たことがない、踊ったことがない、という人こそ大歓迎です。

準備学習として、教科書の内容や、それに登場する人物や用語について調べて、発表してもらいます。

また参加者全員で、各学期に各1回ずつダンスの公演を見に行く予定です。これに出席できない人は、今回のゼミには参加することができません。

また各学期にそれぞれ少なくとも1回、自分でプロのダンスの公演を探して見に行き、さらにレポートを書いてもらいます。

**成績評価方法：**

発表内容 30%、学期末レポート 30%、演習への貢献度 40%

また指定されたダンスの公演を見に行くのが、単位修得の条件です。ダンスの公演は週末(金曜夜、土、日)に開かれることが多いので注意して下さい。

教員の研究分野…ヘーゲルなど18、9世紀のドイツの哲学

募集人員…8名程度

募集方法…希望者が多いようであれば、自己紹介とこの演習に対して希望することを書いてもらって、それを参考に履修者を決めます。

政経教養セミナー投稿	2019年度	無
	2020年度	無



演習テーマ：数と効率の論理の超克—障害学が開く新たな社会の地平

授業内容・授業到達目標：

2016年7月26日、神奈川県相模原市の知的障害者施設山百合園で、重度の重複障害者をターゲットとした大量殺傷事件が起こった。この事件は、単に障害者問題だけにとどまらず、19世紀の進化論に端を発する優生思想、ベンサム、ミルらの流れを汲む功利主義を無反省に受け入れてきた現代社会の在り方に鋭い問いを突き付け、更には人間存在の根本問題についてもパンドラの箱を開けてしまった。本ゼミでは、従来政治・経済学の傍流に置かれることの多かった障害学の視点から、ポスト相模原の時代に歩み入って益々混迷の度を深めている私たちの社会に新たな光を投げかけてみたい。授業は、春学期は障害学に関する講義を中心に、秋学期は受講者によるプレゼンテーションを中心に進めていく。いずれにしても、毎回受講者による活発な議論が沸き起こることを期待している。

教科書・使用教材：

適宜配布、または指示する

受講希望者に対する希望：

自分の意見を積極的に主張し、人の意見に虚心に耳を傾ける姿勢を持っていること。新たな知識を得ることに貪欲であること。あらゆることを自分の埒外に置かず、当事者意識を持つよう心がけること。

準備学習の内容：毎回の授業を自分なりによく整理・吟味すること。関連のニュース、記事、書籍等に常に注意を向けること。

成績評価方法：

プレゼンテーションの達成度、授業での積極的な発言や参加度、ゼミ論の完成度などから、総合的に評価する。

教員の研究分野…言語学、英文学（特にキリスト教文学）、障害学（disability studies）

募集人員…最大でも 10 名

募集方法…ガイダンスの際に、各自の受講動機等に関する 1～2 分程度のスピーチを行う。

（したがって、ガイダンスには必ず出席すること）その際、必ず原稿を用意すること。

政経教養セミナー投稿	2019 年度	有
	2020 年度	投稿予定

## 演習テーマ : 『史記』の世界

### 授業内容・授業到達目標 :

紀元前の 2 世紀から 1 世紀にかけての中国に生きた一人の歴史家、司馬遷を著者とする『史記』は、いろいろな意味で初めてづくしの著作として知られます。

まずそれは、中国において初めて著者の名が明示された歴史書として世に登場しました。もちろん、中国では、それ以前から多くの歴史書が編纂されていましたが、それらの歴史書はあくまで匿名の史官たちによって記述されるものでした。

次にそれは、世界の歴史がはじまって以来の全歴史を記述することを目指したものでした。それ以前の歴史書が、限られた時間と空間の中での歴史記述を前提としていたこととくらべ、その目標は破格なものでした。そして、そのような目標を実現するために『史記』が創始したのが、新たな歴史記述の形式でした。王朝史としての「本紀」、王朝の制度史としての「書」、群雄史としての「世家」、個人史としての「列伝」が、それにあたります。

もう一つつげくわえるなら、世界の空間的な広がりや歴史的な時間の交差するさまを、「年表」という形式で整理してみせたのも、『史記』の独創でした。

『史記』の登場は、その後の歴史記述に決定的な影響をあたえたという意味で一つの事件ともいべきものでした。なにより、それは、この二千年来、数多くの読者を魅了するテキストでした。その魅力の源泉を探ること、項羽と劉邦の物語にとどまらない『史記』の世界の奥行きを探訪することを、この演習では目指したいと思います。

### 教科書・使用教材 :

随時プリントを配布します。

### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :

中国の伝統文化に対し関心をもち、かつ、『史記』についても相応の興味をもっている方であれば、どなたでも歓迎します(『史記』の原文を直接読むわけではないので、その点は、ご心配なく)。

武田泰淳『司馬遷 史記の世界』をできれば一読して(おいて)ください。

毎回の授業には、前回までに配布した資料を再読して臨んでください。

### 成績評価方法 :

授業時発表 60%、課題提出 40%

教員の研究分野…中国前近代思想

募集人員…10 名程度

募集方法…ガイダンスの際に説明します。なお、ガイダンスの際には、志望理由をあらかじめ 200 字程度にまとめて持参してください(様式は自由でかまいません)。

政経教養セミナー投稿	2019 年度 (第 45 号)	有
	2020 年度 (第 46 号)	有

**演習テーマ : 世界の文学作品の「朗読」や「翻訳」、及び「創作」の実践**

**授業内容・授業到達目標 :**

日本語や中国語または英語で、古典的名著 (小説や詩や短歌や漢文や戯曲や講談) をそのまま朗読してもらったり、また原文を翻訳してもらったりします。題材としては例えば、魯迅、孫文、中江兆民、宮崎滔天、夏目漱石、森鷗外、目取真俊、シェークスピア、ドストエフスキーなど。最終的には自作のストーリーや詩を発表 (朗読か暗唱) してもらいます。またそれに挿絵を描いてきてもらって、みなで鑑賞することも OK です。版画を彫ることについて、要望があればワークショップもやります。

人間社会において、多数が黙読をするようになったのはここ二百年ほどのことで、また自ら書き記すようになったのも、この百年のことです。人類の歴史において、人は他人 (先祖や神) の話を聞いてそれを真似て伝達したり、あるいはそれら複数の話を練り上げてお話や詩を作ったり、さらに他人 (また先祖や神) に聞かせていました。詩や小説の起源は、実は、そのような記録であるのです。

そういうことで、このゼミでは、長らく親しまれて来た世界の名著を「声」に出すことによって、文字の行間や背後にある言葉のリズムや響きに触れてもらい、また翻訳によって、他の言葉のリズムや響きを挿入することを目指します。このゼミでは、他のメンバーが朗読 (発表) や翻訳についての出来栄えについても感想を聞きます。まず、よく耳を澄まし、目を凝らして、自らを触発することが重要です。

**教科書・使用教材 :**

クラスウェブ、あるいは初回授業時に呈示

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

授業中の朗読の良し悪しも重視するので、テキストの音読練習をして来ること。また、翻訳を課された場合には、それを準備して来ること。また、創作 (発表) を課された場合にも、それを準備して来ること。

**成績評価方法 :**

演習への貢献度 50% 発表の出来栄え 50%

教員の研究分野…日本と東アジアの文化

募集人員…5 名程

募集方法…初回に簡単なアンケート試験を実施

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ : ベンチャー・中小企業経営研究**

**授業内容・授業到達目標 :**

ベンチャー・中小企業による産業の苗床機能の発揮が、先進諸国でも、発展途上国でも期待されている。なぜなら、今日のホンダやソニーも、創業当初は小さな町工場からスタートして、一大産業を築いたからである。また、経済の国際化、サービス化、高度情報化など、企業を取り巻く経済環境は変化し続けている。従って、経済学を学ぶための前提条件として、①企業活動に対する強い関心を持つ、②企業経営の実態を十分に観察する眼力を身につける必要がある。

そこで第 1 に、実際のベンチャー・中小企業の実態と今日の大企業が中小企業から大企業に成長・発展してきたプロセスについて、文献、白書などを通じて研究し、その内容に関する研究発表を行う。第 2 に、映像を用いて、経営者のコメントや企業活動の現場紹介から経営の実態を学び、それに基づくレポート作成を行う。なお、ビジュアル教材の内容は、中小企業の連携・組織化活動、ベンチャー・中小企業の経営者像、創業・新事業創造から大企業に至ったプロセスなどとする。第 3 に、課外授業として、工場や物流センターなどの現場視察を行う。最後に、これら一連の研究活動を通じて、各自、ベンチャー・中小企業を中心としたケーススタディによる論文を作成する。

**教科書・使用教材 :**

『空洞化する都市型製造業集積の未来』森下 正著、同友館、2008 年

『中小企業白書 2020 年版』中小企業庁編、日経印刷、2020 年

『和える-aeru- (伝統産業を子どもにつなぐ 25 歳女性起業家)』矢島里佳著、早川書房、2014 年

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

受講にあたり経済学の基礎知識として「マクロ・ミクロ経済学」を、テクノロジーの変遷に関する知識として「歴史における科学」を、文章表現能力を養うために「日本文学」を受講することをお勧めする。また、経済活動の実態に興味があり、無遅刻無欠勤の皆勤で最後までやり抜く強い意志のある者の受講を望む。また、授業前の発表用資料の準備を怠らせずに実践してほしい。

**成績評価方法 :**

論文作成 40% + 課題レポート 30% + 課題発表 20% + 現地視察レポート 10% = 100%

**教員の研究分野**…ベンチャー企業と中小企業経営の実証的研究

工業団地(サイエンスパーク)、産業集積地(産地・企業城下町など)、協同組合に関する研究

中小企業の経営革新、新規事業創造、組織化に関する研究

**募集人員**…15~20 名

**募集方法**…筆記試験 (日本の中小企業・地域産業に関する時事問題に関する作文)

**政経教養セミナー投稿** 投稿経験なし。

## 演習テーマ：スポーツと法学

## 授業内容・授業到達目標：

スポーツは健康の維持・増進、健全な精神の育成のため社会的に認められた有意義な活動ではあるが、多くの危険を含むのも事実である。万全の注意を払っても事故の発生する場合もある。このような事故に対して刑事上は(多くの場合)、違法性が阻却され罪には問われない。一方、民事上は損害賠償を問題とするが「危険の引受」法理などを用いて解決を図っている。これは、危険な状態を知りながら自発的にその危険な状況に入るものは、それによって損害を被ったとしても、自ら危険を引き受けたものとして損害賠償を請求することはできないとの考え方である。しかし、昨今の判決ではバドミントンの試合中にペアの相手を怪我させたとして、1300万円の賠償を認めていることもあり、法的処遇に変化が起りつつある。

スポーツ界の裁判として、オリンピック選手や理事の選考基準、ドーピング問題、その他をスポーツ仲裁裁判所(CAS: Court of Arbitration for Sport)に提訴することが増えている(例えば、千葉選手、我那覇選手、室伏選手、古賀選手等)。CASは、国際オリンピック委員会によって1984年に設立され、スポーツで起きたトラブルを、スポーツ界で解決することを目的とした一審制の仲裁機関である。国内においては、2003年に日本スポーツ仲裁機構が設立されており、スポーツに関わる法的問題を仲裁機関に委ね判断を仰ぐシステムが確立されつつある。

刑事上の深刻な問題として、国際的には元日本代表監督が起訴されているサッカーの八百長試合や組織ぐるみの汚職、国内的には巨人軍選手の賭博問題を挙げられよう。確定判決までは有罪と認められないが、選手や関係者たちが各種の犯罪と関わる機会に囲まれていることは確かである。

本ゼミにおいては、国内外の提訴された様々な事案から、訴えの理由や係争点、判決・仲裁の内容等を検討したい。また、スポーツに関わる犯罪のうち、国家の刑罰権を用いる必要があるほどの深刻な犯罪行為についても検討したい。

## 教科書・使用教材：

「標準テキスト スポーツ法学」(第2版)2017年。その他、適宜支持します。

## 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

スポーツ法学は、近年とくに注目されてはいますが、まだまだ新しい学問領域と言えます。その範囲は多岐にわたり色々な学問と関係があります。ですから、独創性と積極性のある学生を求めます。専門的知識よりも好奇心が必要とされます。日頃からの準備としては、スポーツに限らず裁判記事や社会問題を注意深く見ていく態度を持ちましょう。

## 成績評価方法：

演習への貢献度 50%、発表内容 30%、授業時課題 20%

教員の研究分野…法律

募集人員…15～20名

募集方法…希望者が多い場合は、ガイダンス出席者の中から選考

政経教養セミナー投稿	2019年度(第45号)	有
	2020年度(第46号)	執筆中

## 演習テーマ: 英語漬け、英語イベント/発表を通して留学に備えよう!!

## 授業内容・授業到達目標:

集中的、かつ効果的に「英語基礎体力」を身につけ、仲間と一緒に楽しく且つハードに英語漬けの毎日を送り留学準備をしたい、そしてACEコミュニティを介したイベント運営などを通して、将来グローバルなプロジェクトに取り組みたい人のためのゼミです。授業はすべて英語で行われ、授業時間の大半において、英語で発話する機会があり、ポジティブ心理学やマインドフルネスの実践、さらに課題や学内外のイベント企画/実行、学外の学会発表等の活動を通して、英語漬け状態をキープします。最新の脳科学の成果などに基づいたアクティヴ・ラーニングを中心に、まずは日常的に英語を使うことに慣れ、さらに、各自が選ぶオンライン記事や本の英文レポート、TED.comや映画などについてのコメント投稿、レポート執筆やそれらについての学生同士によるクイズゲーム、ディスカッションやプレゼンなどを通して教え合い、より高度なアカデミックなレベルでの総合的英語力とアカデミックスキルを向上させます。また、自主的な英語によるACE関連、国際交流などのイベント開催、学会での発表などを通じ、外部への発信をすることにより、自信をさらに強め、英語による表現力の完成度及び協働プロジェクト遂行能力を高めます。13~18年度のゼミ生を例にとると、すでに大半が中期~長期の留学(人によっては複数回、大学院を含む)を実現、あるいは計画が確定しています。

メンバー同士の親睦も、無理のない英語使用を通して深まるよう配慮しています。原則全員参加の合宿(少なくとも春学期、夏休み、場合によっては春休みにも各1回)があり、例年、春は5月~6月の週末(1~2泊)に、秋は秋学期直前にACE Summer Camp(2泊程度)の企画運営をしています。イベントの多くは週末になるので、その準備も含め、スケジュールの調整が必要になりますので注意してください。また、月曜6限前半の時間帯にも準備作業やミーティングなどが入ることも多いので、あけておいてください。より細かい授業内容などについては初回授業で説明します。

最近のイベント、学会発表の主な例(下記の太字のイベントはほぼ毎年開催しており、他についてはゼミ生が主体的にその内容を決定。):

- ・学生による**ACE Welcome Party, ACE Summer Camp, ACE Reunion & Exchange**、卒業生による**就職相談会**、留学相談会、TOEFLセミナー等、様々な**ACE交流会**、留学促進、国際交流、グローバル就職関連イベントの開催企画/実行。その他にも:
- 2015年度: ・**“World Peace Game”**(国際政治ロールプレイ/シミュレーションゲーム)を政経学部学生向けに作りこみ、ネイティブの先生方も参加し数回ゲームイベントを開催。  
・**“The World Peace Game: A student-led simulation game for achieving world peace”** 第2回JALT(全国語学教育学会)学習者ディベロップメント研究部会(大妻女子大学)で森本と共同発表。  
<http://ld-sig.org/events/creating-community-learning-together-2015/creating-community-learning-together-2-presentations/voko-morimoto-et-al/>
- 2016年度: ・**“Husky Race”**(英語のなぞなぞを解きながら、東京中を小グループで巡るミッション完結型英語ゲーム。英語文献により勉強してきた脳科学の成果をこれに応用。)  
・**“Husky Race - a student-led brain-friendly game that takes participants to numerous points of interest in Tokyo (or any city) in small groups to achieve their missions”** 第3回JALT(全国語学教育学会)学習者ディベロップメント研究部会(大妻女子大学)で森本と共同発表。  
<http://ld-sig.org/creating-community-learning-together-3/>
- 2020年度: ・**“A Story of Us Transforming our Remote College Life Through Online Events”** 第6回JALT(全国語学教育学会)学習者ディベロップメント研究部会(オンライン開催)で発表。  
・**“Dubbing of Toy Story 3 - The Quarrel between Woody Squads and Teddy Bear (7m 16s)”** in Student Film Festival in 2nd “Performance in Education Conference: Research and Practice” (オンライン開催にて出品)  
<https://sites.google.com/view/englishvisionsandvoicesfilm>

## 教科書・使用教材:

Study Skills for College English 2<sup>nd</sup> Edition (慶應義塾大学経済学部英語部会編著 定価 ¥1,100)ほか、主にオンライン上の記事やTED.com等のプレゼンテーション、映像、書籍など。

参考図書: Go Wild, John Ratey and Richard Manning, 2015. ¥1,904

Brain Rules, John Medina, 2014. ¥1,609

Before Happiness, Shawn Achor, 2013. ¥1,904

## 受講希望者に対する希望・準備学習の内容:

「この1年間、英語力を飛躍的に伸ばし、近い将来に留学する」という明確な目標を持ち、日々の努力を惜しまない人、学年、年齢にかかわらず、自ら率先してリーダーシップをとり、他者との共同作業を楽しめる人、を求めます。より集中的な英語学習環境を整えるために、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナー等を他にもできれば2コマ以上、最低でも各学期1コマは履修してください。学部の留学生サポーター制度(例年4月中に募集)や海外留学プログラムにも、積極的に参加してください。仲間と切磋琢磨しお互いをサポートしながら自主的にACE/英語関連のイベントを計画、実行し、かつそのクリエイティブな過程や、このゼミ、そして卒業生を含むACEのコミュニティ全体の中で濃厚な人間関係を育みたい人の受講を歓迎します!このような経験は、将来の留学、グローバルなプロジェクト等を推し進める際にもきっと役立つことでしょう。なお、上記で述べたゼミのスケジュール上、週末等のイベント、授業時間外の準備作業に支障のないスケジュール管理ができることが必須です。

## 成績評価方法:

演習への貢献度: 40% (特別な事情を除き、年間5回以上欠席または大幅な遅刻や早退をした場合は原則として単位は認定されない。全てのゼミイベント、合宿への参加を含む。)

Posts, reports and other written assignments: 30% (すべての課題を完了/提出しなければ単位は認定されない。)

Presentations and other oral outputs: 30%

\* **当該授業の修得単位は、ACE修了要件の上限2単位まで参入することができる。**

教員の研究分野…英語教授法。脳科学、ポジティブ心理学等の知見を生かした語学学習・教授法。プレゼンテーション指導法。演劇、多読、多視聴による自律的外国語学習とその支援。

募集人員…10名程度

募集方法…TOEIC520点以上、ACE科目、留学準備講座、あるいはトップスクールセミナーに春、秋学期とも少なくとも一コマ履修登録していることが最低条件です。初回授業にTOEIC、TOEFL、英検等のスコア、ACE履修申し込みのエントリーシートのコピー、そして個人の時間割を持参してください。英語と日本語の面接等を経て、受講者を決定します。

政経教養セミナー投稿 2017年度: 投稿あり(英文) 2018年度: 投稿あり(英文) 2019年度: 投稿あり(英文)

**演習テーマ : オリンピック・イヤーのイスラーム入門**

**授業内容・授業到達目標 :**

この演習では、イスラーム世界におけるジェンダー、メディア、国際政治などとスポーツ振興の関連、関連映像の分析、スポーツをめぐる一般的な問題などについて調査研究・ディスカッションを行う。東京で夏季オリンピック・パラリンピックが開催されれば全世界からイスラーム教徒 (ムスリム) のアスリート、そして関係者が東京に参集することになる。それに対応できるような、イスラームについての基本的な知識、食事やその他の宗教的禁忌や作法などについての基礎知識を得ること、また、一口でイスラーム教徒といっても、その出身国は多様で、ヨーロッパやアメリカから出場するイスラーム教徒もいれば、難民チームとして参加する選手もいるので選手を送り出す各国事情や選手育成の背景などについて調べ、オリンピックがどのような国際環境のなかで開催されているのかを浮き彫りにしたい。そして秋学期にムスリム・アスリートがどのように活躍したか、相手を尊重して「おもてなし」できていたか、などを検証することとする。

オリンピックが開催されない場合、履修者の興味関心に応じて、イスラーム世界とスポーツについてのトピックを設定する。

**教科書・使用教材 :**

随時、教室で案内する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容 :**

演習参加希望者には、第 1 回目のイントロダクションにかならず出席してほしい。

ほぼ毎回、履修者に持ち回りで研究発表をしてもらうことになるので、自分 (あるいはグループ) にまかされた発表準備をきちんとすること。発表を聴く側も、きちんと聴いてコメントや質問ができるだけの集中力と知識をもって、ゼミに臨んでほしい。

また、できれば関係者へのインタビューなどもしたいと思っている。大学でのゼミの時間帯以外の活動について、連絡を密にとれることも、重要になる。

**成績評価方法 :**

発表 40%、期末レポート 40%、演習時の積極的参加 (コメントなど) 20%

教員の研究分野…文化論、西アジア地域研究

募集人員…10 名程度まで

募集方法…第1回目に履修希望者の話をきいて決める。

政経教養セミナー投稿 履修者と検討する。

専任講師 兼子 歩 水曜 2 時限 (春学期)

担当科目：英語 I、英語 II、英語 III、ACE、アメリカ地域論、アメリカ文化論

### 演習テーマ：「文化としての身体」

#### 授業内容・授業到達目標：

この授業では、社会における人間の身体がどのように文化的に意味づけられているのか、身体の文化的意味づけはどのように変容していくのかを考えます。人間にとって身体は自然に与えられたものであると認識され、その意味も自明であるかのように感じられます。しかし私たちが自分自身や他人の身体をどう捉えるかということは、実は時代や社会やその人が置かれた状況によって異なっています。身体とは、生物学的与件であると同時に、文化的現象でもあるのです。

そこでこの授業では、文化的・社会的現象としての身体に関する入門書（アメリカで大学のテキストとして使用されることを念頭に執筆されたものの邦訳です）を読み進めながら議論することを通じて、わたしたちの身体をめぐる社会学者・人類学者・歴史学者などによる最新の研究動向を学びます。私たちの身体や、身体を取り巻き身体を意味づけている社会や文化に対する自明視を相対化するようなものの見方・考え方を習得することが、この授業の目標です。

#### 教科書・使用教材：

マーゴ・デメッロ著『ボディ・スタディーズ：性、人種、階級、エイジング、健康／病の身体学への招待』田中洋美監訳、兼子歩ほか訳、晃洋書房、2017年。なおこのテキストはアメリカの事例が中心ですが、日本を含む他地域に関する事例も紹介されています。

#### 受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

この授業では、テキストの事前に指定されていた章を読んで理解しておくことが求められます。最低1回は、内容を紹介する報告が求められます。そのほかに、内容に関連して調査を行い、その結果を報告することも求められます。授業ではディスカッションに積極的に参加してください。ディスカッションでの沈黙は、欠席と同じ扱いを受けます。

#### 成績評価方法：

授業（特にディスカッション）への貢献 60%、報告 40%

教員の研究分野…アメリカ社会文化史（特に人種・ジェンダー）、ジェンダー研究

募集人員…最大 15 名

募集方法…簡単なオンライン試験による選抜があります。

政経教養セミナー投稿 無



専任講師 兼子 歩 水曜 2 時限 (秋学期)

担当科目：英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、ACE、アメリカ地域論、アメリカ文化論

演習テーマ：「英語で読むアメリカのいま」

授業内容・授業到達目標：

この授業では、アメリカ合衆国で刊行されている新聞・雑誌の記事を読み、その内容について検討していきます。この授業は英語リーディングの授業ではありません。あくまで英語で書かれている記事の内容について報告やディスカッションを行うことを通じて、アメリカの社会や文化、政治や経済をさまざまな視点から学ぶことを目的としています（英語が難しい場合は、もちろん読み方を指導します）。読む記事は、日本のメディアでは言及されることがあまりない、しかしアメリカを知り学ぶ上では興味深い情報や議論を紹介するものです。

アメリカ社会に関する多様な視点を獲得し、日本語によるメディア空間によって制限されたアメリカ認識を相対化することが、この授業の主たる目標ですが、英語で書かれた高度な議論を読みこなせるようになることも、副次的な目標です。

教科書・使用教材：

アメリカで刊行されている新聞・雑誌記事を毎回テキストとして読むことになりますが、テキストは Oh-o! Meiji でダウンロードできるようにしますので、テキストを購入する必要はありません。

受講希望者に対する希望・準備学習の内容：

この授業では、事前に指定されていたテキスト（アメリカの新聞・雑誌の記事）を読んで理解しておくことが求められます。ただし、和訳を作成する必要はなく、内容が理解できれば結構です。毎回、1,000～3,000 単語程度の英文（英語学習者向けのリーダーより難易度は高い）を読むことが求められます。また、最低 1 回は、内容を要約して紹介する報告が求められます。授業ではディスカッションに積極的に参加してください。ディスカッションでの沈黙は、欠席と同じ扱いを受けます。

成績評価方法：

授業（特にディスカッション）への貢献 60%、報告 40%

ば教員の研究分野…アメリカ社会文化史（特に人種・ジェンダー）、ジェンダー研究

募集人員…最大 15 名

募集方法…簡単なオンライン試験による選抜があります。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：コミュニケーションと身体性**

**授業内容・授業到達目標：**

IT が発展すればするほど、私たちの人間性は退化してはいないだろうか。インターネットの普及により、自分の言葉や身振りで表す感情の役割を果たしているのが絵文字である。ただでさえ、現代人は合理化された感情しか経験できなくなってくるが、そうやって絵文字に自分の感情を任せてしまうことによって、自分の感情はおろか、他者の感情も難しくなっているように思える。さらには、本来 emotion (感情) とは motion (動き、行動) を伴うものであるはずなのに、ヴァーチャルな媒介に気持ちを任せっぱなしにしていると、感情を行動にうつすことができなくなってしまう。

これまでも演劇やパフォーマンスが他者理解として用いられてきたことから、この演習では、創造したり演じたりすることで自分や他者の理解を深め、自分を取り巻く環境について身体をとおして見つめ直すことを目的とする。授業はワークショップ形式で行う。まずはシアターゲーム、即興、身体を使ったエクササイズからはじめ受講者同士の緊張をほだし、安全な場作りを試みる。次に、リラックスしつつ集中し想像力を高めていくような演劇的エクササイズへと進み、徐々に創作のプロセスへと入っていく。創作のテーマは受講者とコンセンサスを得て決め、成果は最終的に発表 (非公開) という形で締め括りたい。

**教科書・使用教材：**

特になし。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

身体や感覚、想像力・創造力を使って学んでいくため、自分の身の回りで起こっていること、自分の内で起こっていることに敏感になってほしい。また、授業中に提示された参考文献や参考資料は必ず目を通すとともに、課題には情熱を持って取り組んでほしい。

**成績評価方法：**

授業への参加度 (50%)、成果発表 (50%)

教員の研究分野…スペイン語圏文学・演劇史

募集人員…10 人

募集方法…希望者が多い場合には、簡単なエッセイ及び面接で選考。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：映像から学ぶ文化人類学の世界**

**授業内容・授業到達目標：**

人や財の国境をこえた動きが加速する一方、人間と非人間の境界さえ曖昧になりつつある今日、文化の途方もない多様性に関心を注ぎ、そこから人間存在の根源的条件に迫ろうとしてきた文化人類学の視座は、これまで以上に重要な意義をもちつつある。本講義では映像作品の鑑賞と参加者による討論をつうじて、人類学的視座の習得を目指す。

文化人類学の習得方法として一般的なのは、理論書・民族誌の読解やフィールドワークの実践である。映像作品の鑑賞を主題とする本授業は、あくまで実験的な試みである。人類学的理論・方法論・知識の本格的習得を望む者は、別の授業の受講も検討して欲しい。

鑑賞候補作品は以下の通りである。

- ・ 人類の多様性にふれる  
『人間は何を食べてきたか』、『BBC 世界の祭・儀礼』
- ・ 映像人類学の呪術師ジャン・ルーシュの世界  
『大河での闘い』、『狂気の主』
- ・ 真実と虚構の狭間  
『人間ピラミッド』、『全身小説家』
- ・ グローバリゼーションとは何か  
『ダーウィンの悪夢』、『ザ・トゥルー・コスト：ファストファッション真の代償』
- ・ 移民・難民とは誰か  
『海は燃えている：イタリア最南端の小さな島』、『キューバ・センチメンタル』
- ・ 負債と贈与  
『ラデット』、『ペイ・フォワード：可能の王国』
- ・ 麗しき生、苛烈なる生  
『祝（ほうり）の島：原発はいらない！命の海に生きる人々』、『檜山節考』

受講者には、想像を超える映像を通じて想像力を鍛え直し、あらたな世界を構想する力を養ってほしい。

**教科書・使用教材：**

とくになし。授業を通じて紹介する。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

文化人類学や国際地域研究基礎論（指導教員が担当のもの）などを受講していることが望ましい。ただし重視するのは知識より意欲である。

毎回の授業後に出欠を兼ねてリアクションペーパーを提出してもらおう。

**成績評価方法：**

授業中の発言等 30%、リアクションペーパー40%、期末レポート 30%

教員の研究分野…文化人類学、アフリカ地域研究

募集人員…10 名程度

募集方法…面接、場合によっては抽選

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：経済思想を学ぶ**

**授業内容・授業到達目標：**

経済思想に関する基本文献を輪読することで、経済学が理論・歴史・政策からなる体系的な学問であることや経済学を学ぶ意義などを考え、各自の学習意欲の向上を図る。

**教科書・使用教材：**

受講者と相談して決める。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

輪読形式の少人数授業のため、レジュメの作成は必須である。したがって、ワープロソフトの初歩的な扱い方を知っていることが望ましい。

**成績評価方法：**

授業への主体的な参加の程度、レジュメの形式・内容などによって総合的に評価する。

教員の研究分野…古典派経済思想、明治期日本の経済学啓蒙

募集人員…10名以内

募集方法…初回の授業時に面談試験を行う。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：グローバル・ヒストリー：近代初期（16-18 世紀）を中心に**

**授業内容・授業到達目標：**

私たちが生きる現代社会の基盤形成は1492年のアメリカの「発見」から始まった。この「発見」からおよそ300年の期間（16-18世紀）は「近代初期」もしくは「近世」と呼ばれる。私たちの今日の生活のあらゆる事柄が近代を前提として成立しており、その近代の先駆けが近代初期と呼ばれる時代である。

私たちが生きる現代社会は近代の影響下にある。画一化された規格、構造、制度、組織といったものを原型とし、これをあらゆる事柄にはめ込んでいく荒波のようなもの、これが近代である。近代の前では、この時代が始まる遙か以前より存在してきた世界各地の文化は変容、解体、消滅といった危機にさらされてきた。現代に生きる私たちは、近代という時代のおかげで自由や平等といった価値を普遍的とみなしている。しかしその一方、近代が世界各地の文化を壊し続けてきたことも事実である。

近代というコンセプトは、世界の諸地域の中でも、15世紀末のヨーロッパを母体として精緻化されてきた。この時代のヨーロッパの政治、経済、社会、文化の諸側面を理解し、ヨーロッパがその域外に広く拡散させてきた近代の諸相の理解は、現代に生きる私たちが自明とする近代を相対化するのに役立つ。

本演習では、こうした問題意識のもとで学生の発表やディスカッションを通じて、近代の意味とその地球規模の余波について考察を深めていきたい。

**教科書・使用教材：**

弓削尚子『啓蒙の世紀と文明観』（世界史リブレット 88）山川出版社、2004 年（978-4-634-34880-6）。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

世界史やグローバル・ヒストリーに関心を持ち、普段からこれに関連する本を読んでほしい。

**成績評価方法：**

演習への貢献度（発表や質疑応答への参加など）50%、学期末レポート 50%

教員の研究分野…ラテンアメリカ史、キリスト教布教史

募集人員…10 名程度

募集方法…初回授業前のエッセイの執筆、初回授業時の面談

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：ブラメリカ（アメリカ合衆国探訪）**

**授業内容・授業到達目標：**

アメリカを（バーチャルにですが）ブラブラします。ブラブラしながらアメリカの地理や歴史について学びます。

授業の進め方として、最初の 1、2 回は、大学レベルでアメリカを学ぶのに必要な基本的事項や今のアメリカが抱えている問題などについて、映像資料やドキュメンタリーをみたりしながらこちらから教授します。その後、受講者は各自が自ら問（とい）を立て、その答えを導いてくれるアメリカの都市や地域を選び、それについてリサーチして発表します。そして、報告者が中心となってそのテーマについてクラス全体で議論します。

問（とい）の例としては、「なぜディズニーランドは人を惹きつけ続けるのか?」、「なぜグランドキャニオンやイエローストーンの絶景は今も人を楽しませてくれるのか?」、「なぜニューヨークは多様性豊かな世界経済の中心であり続けているのか?」、「なぜ LGBTQ の人はサンフランシスコに集うのか?」など様々なものが考えられます。問は、できるかぎり「なぜ」で始まる形にして、一見当たり前に見えて、しかし発表が進むにつれて、その意外性や深さがあらわれてくるようなものが望ましいです。ただ、そういわれてもわかりにくいと思いますので、最初の 1、2 回において、こちらが期待している発表像についても説明します。よい問にたどり着くにはそれなりの学びが必要です。よい問を見つけることができれば、課題の半分は終わったといえるほどです。

発表準備や人の発表を聞いて議論する過程で、アメリカに関する資料に親しむと共に、現代アメリカ社会に対する理解も深めます。また、少人数によるゼミ形式の授業に慣れることも目指します。

半期完結型として開講します。

**教科書・使用教材：**

初回（受講希望者が定員をこえた場合は二回目）の授業で紹介します。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

アメリカを好きな人も嫌いな人も歓迎します。ただ、何の関心もない人は辛いと感じるかもしれません。名前を呼ばれたら大きな声で「はい」と返事ができる人を優遇します。

**成績評価方法：**

演習への貢献度 100%（授業時間内の発表 50%、授業への参加 50%）

教員の研究分野…アメリカ研究

募集人員…20 名前後

募集方法…受講希望者多数の場合は、初回授業において簡単なエッセイによって選抜しますので、受講希望者は必ず初回に参加してください。

政経教養セミナー投稿 無

**演習テーマ：「ジャーナリズムについて、ひたすら語りあう」****授業内容・授業到達目標：**

本演習の目的は、ジャーナリズム、つまりマス・メディアがなう多くの役割のなかでとくにニュースの報道や時事問題についての解説や論説に焦点を絞り、その特質や問題点を総合的に論じることである。本演習であつかう媒体は、新聞や雑誌などの活字メディアを中心とするが、写真・テレビ・ラジオ・インターネットなども含む。ただし、ニュースの報道や評論・論説活動に直接関わらないものは除外する。

本演習は、ジャーナリスト養成のためのハウツー・テクニックを教えるものではない。しかし、本演習を受講することで、我々の日常生活のなかでいかにジャーナリズムが重要な役割を果たしているか、そしてその重要性ゆえに、我々はどうのような心構えでジャーナリズムに接するべきかについて考えを深めることができるはずである。

上述の目標を達成するために、本演習は建設的な討論（ディスカッション）を中心とするゼミ形式を採用する。ここでいう建設的な討論とは、共通の問題に対して受講者がお互いの意見を交換しあい、個人的に、また全体としてより深い問題解決・理解を旨とする共同作業を意味する。具体的には、ジャーナリズムに関する特定の題材を設定し、グループあるいは個人間でその内容についてひたすらディスカッションをくり返す。

より詳しいスケジュールは、課題などの情報とともにシラバスにまとめて初回で明らかにする。受講希望者は、初回にはかならず出席すること。

**教科書・使用教材：**

テキストは使用しないが、受講者は新聞（一般紙）を閲読する習慣をつけておくこと。

大学生を含む成人にとって、新聞閲読は最低限のたしなみである。毎回の授業にその日の新聞を持参し、最近のニュースについてコメントしてもらう。

**受講希望者に対する希望・準備学習の内容：**

受講希望者は、少なくとも次の諸点について了解しておかなければならない。

第1に、「コツコツ努力することが嫌い・苦手」という人、あるいは「楽に単位を取得したい」と考えている人は受講してはならない。単位取得のためには、相当の作業量が要求されるからである。「そうはいつても、どうにかなるだろう」という甘い考えは通用しない。試験での一発逆転も不可能である。

第2に、新聞（一般紙）を閲読する習慣をつけておくこと。

受講決定後は、積極的な演習参加を前提とした新聞閲読、および各自できる範囲での追加的な学習を求める。

とくにディスカッションでは、プレゼンターはもちろん、受講者全員が入念な準備をした上で、ジャーナリズムに関する特定の論題について考えを深めておく必要がある。教員が指定する文献を精読することは当然として、各自がどれだけ追加的な調査・研究に励めるかがより重要である。

通常、予習・復習ともに、演習と同程度、あるいはそれ以上の時間・労力を要する。

**成績評価方法：**

その場限りの単発の試験ではなく、日々の継続的な努力と演習参加を重視する。欠席は大きな失点となるが、かといって単に出席しただけで単位を与えることはない。積極的な参加が評価を大きく左右する。

ディスカッション以外では、新聞（一般紙）を閲読する習慣をつけておくことが重要である。毎回、当日の朝刊を持参することが求められる。数名をランダムにあて、最近起こった時事問題やそのなかでジャーナリズムに関わる事象について意見を尋ねる。そのときの応答・質問・意見・批評の内容も評価を左右する。

評価の配分は、おおまかに、演習参加＝80%、新聞閲読を含むその他＝20%程度とする。

教員の研究分野…アメリカ・ジャーナリズム史

募集人員…10名程度

募集方法…有意義なディスカッションをするには10名程度にしぼる必要があるため、受講希望者が多数の場合は、何らかの方法で選抜する。初回にはかならず出席すること。

政経教養セミナー投稿 未定

教養演習担当者一覧表（開講曜日時限順）

担当教員名	分野					ゼミのキーワード														開講曜日時限	開講期間	ページ				
	政治学系	経済学系	地域行政学系	社会学系	国際文化系	政策	理論	歴史	文化	社会	言語	芸術	健康	スポーツ	科学	数学	情報	国際	環境				リテラシー	ジェンダー	コミュニケーション	
本間 次彦				●			●	●	●	●	●													月曜2時限	通年	40
植田 麦				●				●		●							●							月曜3時限	通年	8
四反田 義美				●			●	●						●	●									月曜3時限	通年	21
塚本 崇				●			●	●	●									●						月曜3時限	通年	29
倉地 真太郎		●				●	●		●															月曜4時限	通年	15
飯嶋 曜子			●			●			●								●							月曜5時限	通年	4
永川 聡	●					●		●	●	●			●	●		●	●	●		●				月曜5時限	通年	34
中村 幸一				●					●	●	●										●			月曜5時限	通年	35
森本 陽子				●						●		●						●				●		月曜5時限	通年	44
山岸 智子				●	●				●	●			●					●			●	●		月曜5時限	通年	45
高橋 信勝		●						●	●	●											●			火曜1時限	春/秋	50
佐久間 寛				●					●									●						火曜2時限	秋学期	49
森本 陽美				●			●			●			●					●				●		火曜4時限	通年	43
高橋 聡		●				●				●									●					水曜1時限	通年	26
奥山 雅之			●			●	●		●	●											●	●		水曜2時限	通年	11
ジョージ, ジョニーE.				●					●	●	●											●		水曜2時限	通年	24
高峰 修				●				●	●	●			●								●	●		水曜2時限	通年	27
虎岩 直子				●					●			●												水曜2時限	通年	32
兼子 歩				●				●	●	●											●			水曜2時限	春/秋	46
仮屋 浩子				●					●			●						●				●		水曜2時限	春学期	48
石井 千春				●				●	●	●	●	●												水曜3時限	通年	5
嶋田 直哉				●					●		●													水曜3時限	通年	23
永江 敦				●					●	●			●	●										水曜3時限	通年	33
平山 茂樹				●				●	●			●												水曜3時限	通年	38
武田 和久				●				●	●															水曜3時限	春学期	51
廣部 泉				●				●	●	●								●						水曜3時限	春学期	52
小島 望	●							●										●						水曜4時限	通年	17
後藤 光将				●				●	●	●		●	●	●				●	●		●	●		水曜5時限	通年	18
小西 淳文		●				●	●			●								●	●		●			木曜1時限	通年	19
海野 素央				●					●		●							●				●		木曜2時限	通年	9
加藤 久和		●				●	●														●			木曜2時限	通年	13
柴崎 文一				●																	●	●		木曜2時限	通年	22
陣野 俊史				●					●		●		●											木曜2時限	通年	25
水野 剛也				●					●	●											●	●		木曜2時限	秋学期	53
大森 正之		●				●	●											●	●					木曜3時限	通年	10
蓬郷 尚代				●								●	●											木曜3時限	通年	30
富澤 成實				●					●	●	●	●												木曜3時限	通年	31
稲葉 肇				●				●	●	●				●										木曜4時限	通年	6
黒崎 峰孝				●						●											●	●		木曜5時限	通年	16
武田 紘平				●								●	●	●										木曜5時限	通年	28
羽根 次郎				●				●		●									●					木曜5時限	通年	37
堀越 喜晴				●		●	●	●	●	●											●			木曜5時限	通年	39
丸川 哲史				●				●	●	●	●	●						●						木曜5時限	通年	41
井上 和哉				●						●														金曜3時限	通年	7
春日井 淳夫				●								●	●	●								●		金曜3時限	通年	12
金子 隆一		●				●				●				●				●						金曜3時限	通年	14
野口 健			●		●		●	●	●	●		●					●	●	●					金曜3時限	通年	36
森下 正		●	●			●	●		●															金曜3時限	通年	42
齋藤 雅己		●				●	●			●									●					金曜4時限	通年	20